

第76回日本体力医学会大会のご案内（第1報）

第76回日本体力医学会大会を下記の通り三重県津市において開催いたします。

全国から多くの会員の皆さまのご参加を心からお待ちしております。

なお、学会の最新情報は第76回大会ウェブサイト (<https://www.right-stuff.biz/jspfs76/>) をご覧ください。学会の最新情報は順次アップしていきます。

記

1. 会 期：令和3年9月17日(金)、18日(土)、19日(日)
2. 会 場：三重県総合文化センター
(〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地)
3. 大 会 長：加藤 公（鈴鹿回生病院院長）
4. 大会事務局：皇學館大学 教育学部内
第76回日本体力医学会大会事務局
事務局長：片山 靖富（皇學館大学教育学部准教授）
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL/FAX：0596-22-8148（直通）
E-mail：tairyokumie.jimukyoku@gmail.com
運営事務局：株式会社ライトスタッフ内
〒910-0019 福井県福井市春山1丁目1-14 福井新聞さくら通りビル3階
TEL：0776-25-7201 FAX：0776-25-7202
E-mail：jspfs76@right-stuff.biz
5. 大会プログラム（予定）
 - (1) 大会長講演
 - (2) 特別講演
 - (3) 教育講演
 - (4) シンポジウム
 - (5) 国際セッション
 - (6) ワークショップ
 - (7) 一般研究発表（口演・ポスター）
 - (8) ランチョンセミナー
 - (9) 学会賞受賞講演
 - (10) 県民・市民公開講座
 - (11) その他

注1.) 一般研究発表、公募制プログラムの申し込み等については、決定次第、お知らせいたします。

注2.) 学会大会の一般研究発表への応募は学会員に限ります。共同研究者は学会員ではなくても構いません。会員および非会員の共同研究者が本大会に参加する場合は大会参加費が必要となります。

第75回日本体力医学会大会（鹿児島）を終えて



第75回日本体力医学会大会大会長
鹿屋体育大学特任教授／鹿児島大学名誉教授

徳田修司

今から48年前、第26回日本体力医学会大会が鹿児島大学医学部の大森教授を大会長として牧園町の霧島観光ホテルで開催されました。私は当時大学院の院生であり、初めて日本体力医学会大会に「一回目の鹿児島大会」で参加したことが懐かしく思い出されました。学会員の皆様にお配りした「プログラム・予稿集」の表紙は、錦江湾に浮かぶ鹿児島を代表する「噴煙たなびく桜島」を背景に、ウィリアム・ウィリスと高木兼寛の胸像写真を配置しました。鹿児島市のかごしま県民交流センター横の歩道に「ウィリス、高木に西洋医学を説く」という表題の像が建てられています。ウィリアム・ウィリスは、鹿児島で医学の普及に貢献したイギリスの医師、高木兼寛は、ウィリスの弟子で鹿児島医学校において医学を学び、後に東京慈恵会医科大学を設立した人物です。高木兼寛は、1917年、加納治五郎とともに当時の臨時教育会議の委員を務め、体力や体育の重要性を強調しました。その後、労働科学研究所（1921年）、厚生科学研究所（1941年）など体力医科学に関する研究機関を経て、1949年に日本体力医学会が設立されています（体力科学63（2）247～257）。このような歴史的背景を考慮すると体力医学会大会の鹿児島開催は、実に意義深い事と考え、鹿児島大学を会場に「二回目の鹿児島大会（第75回日本体力医学会大会）」の開催における大会長を引き受けることにしました。

その後、学会本部から現地の会場視察にこられる事になり、会場に予定していた鹿児島大学共通教育センターと稲盛会館を案内しました。また、その時は、持久走大会も計画することになっており、そのコースについても役員の視察がありました。一応の会場視察を終えた役員の方々の意向は、ほぼ鹿児島大会会場でいけると判断され、放送設備や出入り口などの付帯設備についてもよく確認した上で「第75回日本体力医学会大会」を鹿児島大学共通教育センターと稲盛会館を会場に開催するということになりました。

ところが令和2年の1月頃から関東で新型コロナウイルス感染症の患者が見つかり、国中での感染症蔓延防止のため、学会大会の開催方法の変更を強いられることとなり、急遽、Webによる学会で開催する事になりました。初めてのWeb開催でどの様に進めるか、運営業務を委託した業者（CSS）の方とも綿密に、何回となく打ち合わせを行い、Webによる開催の準備を進めました。聞けばこの様なWebによる学会の開催は日本体力医学会大会においては全く初めての事であり、私たち学会事務局も運営事務局の業者の方々も幾つかの他のWeb開催の学会を参考に試行錯誤しながら準備をしました。

急な開催方式の変更に対応して実行委員会でも参加受付の締め切りをぎりぎりまで延長し、Webによる学会大会への学会員の参加を呼び掛けました。一方で大会を後援頂く各種の団体様・企業様へのお願いも並行して進めました。参加いただきご協力いただきました団体様・企

業様には心からお礼申し上げます。

この様な学会の成否を決める準備活動は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、順調ではなく蓋を開けるまでは心配ばかりでした。そんな中、運營業務を担当いただいたCSSの方々の方強い支援を頂き、何とか体力医学会大会初めてのWebによる「第75回日本体力医学会大会（鹿児島大会）」の開催に漕ぎ着けることができました。

学会初日には、「ログインできない」トラブルが発生し、会員の皆様にご迷惑をおかけしたことは深く反省しております。初めてのWeb開催で全ての発表がポスター発表の形式で行われました。参加された会員の皆様は事前に送られた大会プログラム・予稿集で興味ある発表抄録をあらかじめ把握して、当日公開される発表ポスターの質問欄に質問や意見を記入してメールでやりとりをするという方式でした。通常の学会の口頭での質疑応答がメールでのやり取りに替わりました。発表会場での迫力のある生の声での質疑応答は実現できなかったのですが、質疑応答の内容が文字で残るということは利点だったと思います。学会員の方々から、いくつかの前向きな質問や意見もいただき、質疑応答の方法とか個人情報の管理であるとか、さらに検討を必要とする内容が明らかになり、それなりにこれからの学会の開催の在り方に一石を投じることができたのではないかと考えています。

最終的な参加者総数は、738名（事前参加684名、当日の参加54名）となりました。特別講演をお願いした同志社大学研究開発推進機構宇宙医学研究センターの大平充宣先生、教育講演をお願いした日本体育大学保健医療学部スポーツ医学（内科系）の成田和穂先生にはいずれも大変興味深いテーマでの講演が実現できなくて残念に思い、また誠に申し訳なく思っています。さらに20にも及ぶシンポジウムを企画いただいた先生方およびそれらのシンポジストをお引き受けいただいた先生方にも準備に大変ご苦労されたことを考えると申し訳なく思っています。一般発表でご口演いただく予定であった発表者の先生方にはWeb用のポスターを準備いただき、質問欄の質問に対してメールで応答するという初めてのケースにご対応いただくこととなりご負担をおかけしました。発表は、やはり発表会場で生の声で拝聴し、率直で活発な生の質疑応答が意味のあることではないかと考えています。しかし、前述のように新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点からWeb開催に変更して実施する運びとなり、会員の皆様方にはご不便とご迷惑をおかけすることになってしまいました。

今後、Webによるこのような学会大会もさらに進化し、欠点が解消され、もっと望ましい形に発展していくことを願っています。

準備から大会閉幕・残務整理までご尽力いただいた実行委員長の萩田先生、事務局長の與谷先生（鹿屋体育大学）、実行委員の先生方、そして強力にご支援、ご助言をいただいたCSSの坂口社長、正司園マネージャー及び社員の方々には心からお礼申し上げます。

（令和2年10月吉日）

一般社団法人 日本体力医学会 定款

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この法人は、一般社団法人日本体力医学会と称する。英語名は、The Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicineと表示する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都文京区に置く。

2 この法人は、理事会の決議により、従たる事務所を必要な地に設置することができる。

(地方会)

第3条 この法人は、社員総会の議決を経て、地方会を置くことができる。

2 地方会の組織及び運営に関し必要な規定は、理事会において定める。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第4条 この法人は、日本国内外における体力ならびにスポーツ医科学に関する研究の進歩、発展を促進し、研究の連絡協力を図るとともに、その成果の活用をはかり、もって我が国の学術の発展に寄与することを目的とする。

(事 業)

第5条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 体力医学に関する学術講演会などの開催
- (2) 機関誌その他の刊行物の発行
- (3) この法人が関係する内外の関連団体との連絡及び協力
- (4) 研修会の実施と称号の授与
- (5) 体力医学の振興ならびに、普及、啓発
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(学術講演会)

第6条 学術講演会は、毎年1回以上開いて会員の業績を発表する。

2 国民体育大会行事の一環として行われる学術講演会は、この法人の学会大会として、原則として国民体育大会の開催地で行われる。

第3章 会 員

(法人の構成員)

第7条 この法人の会員は、次の4種とする。

- (1) 正 会 員 体力医学に関する学識経験を有し、この法人の目的に賛同して入会した個人
- (2) 名 誉 会 員 この法人の発展に関して学術上の功績が特に著名な者で、理事会が推薦し社員総会で承認された個人
- (3) シニア会員 名誉会員に準ずる会員で、別に定める要件を満たした会員からの申請により理事会で承認された個人
- (4) 賛 助 会 員 この法人の事業を賛助するために入会した団体

2 この法人は、正会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般社団・財団法人法」という。）上の社員とする。

(入 会)

第8条 この法人の会員になろうとする者は、理事会の定めるところにより申込みをし、その承認を受けなければならない。

(経費の負担)

第9条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、毎年、会員は、社員総会において別に定める額の会費を支払う義務を負う。ただし、名誉会員はこの限りでない。

2 既納の会費は、いかなる場合でも返還しない。

(任意退会)

第10条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除 名)

第11条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、社員総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき.
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき.
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき.

(会員資格の喪失)

第12条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第9条の支払義務を2年以上履行しなかったとき.
- (2) 総正会員が同意したとき.
- (3) 当該会員が死亡し、又は解散したとき.

第4章 社員総会

(構成)

第13条 社員総会は、すべての正会員をもって構成する。

(権限)

第14条 社員総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 理事及び監事の報酬等の額
- (4) 事業報告及び貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）等の承認
- (5) 会費の額
- (6) 理事会で付議したもの
- (7) 定款の変更
- (8) 解散及び残余財産の処分
- (9) その他社員総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第15条 社員総会は、定時社員総会として毎事業年度終了後3箇月以内に開催するほか、必要がある場合に臨時社員総会を開催する。

(招集)

第16条 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 総正会員の議決権の5分の1以上の議決権を有する正会員は、理事長に対し、社員総会の目的である事項及び招集の理由を示して、社員総会の招集を請求することができる。

(議長)

第17条 社員総会の議長は、理事長がこれにあたる。

(議決権)

第18条 社員総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

(決議)

第19条 社員総会の決議は、出席した正会員の議決権の過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行う。
 - (1) 会員の除名
 - (2) 監事の解任
 - (3) 定款の変更
 - (4) 解散
 - (5) その他法令で定められた事項
- 3 社員総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について、書面もしくは電磁的方法をもって議決権を行使し、又は他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができる。
- 4 前項の場合における第1項、第2項の規定の適用については、その正会員は出席したものとみなす。

(議事録)

第20条 社員総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

第5章 役員等

(役員を設置)

第21条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 20名以上25名以内
- (2) 監事 4名以内

- 2 理事のうち1名を理事長、2名を副理事長、1名を常務理事とする。
- 3 理事長を一般社団・財団法人法上の代表理事とし、副理事長及び常務理事を業務執行理事とする。

(役員を選任)

第22条 理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する。

- 2 理事長、副理事長及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
- 3 監事は、この法人又はその子法人の理事又は使用人を兼ねることができない。
- 4 役員を選出についての細則は別に定める。

(理事の職務及び権限)

第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。
- 3 副理事長及び常務理事は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人の業務を分担執行し、理事長に事故があるときは、あらかじめ理事会で定めた順序により、その職務を代行する。
- 4 理事長、副理事長及び常務理事は、3箇月に1回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第24条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。なお、再任は妨げない。

- 2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。なお、再任は妨げない。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第26条 理事及び監事は、社員総会の決議によって解任することができる。

(役員報酬等)

第27条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事及び監事に対しては、社員総会において定める総額の範囲内で、社員総会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

第6章 理事会

(構成)

第28条 この法人に理事会を置く。

- 2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第29条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長、副理事長及び常務理事の選定及び解職
- (4) 社員総会に付議すべき事項の決定
- (5) 細則及び規則類の制定、同改廃の決定

(招集)

第30条 理事会は、理事長が招集する。

(議長)

第31条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

(決議)

第32条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定に関わらず、理事が理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることができる理事の全員が書面・メール又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。但し、監事が異議を述べ

たときは、その限りではない。

(議事録)

- 第33条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第7章 評議員及び評議員会

(評議員)

- 第34条 この法人に、評議員を置く。
2 評議員は、理事会で選任する。
3 評議員は、評議員会を構成し、理事会の諮問に応じ、意見を述べることができる。
4 評議員の互選により、評議員会長を置く。

(評議員会)

- 第35条 評議員会は、毎事業年度に一回開催するほか、必要がある場合に開催する。
2 評議員会は、評議員会長が招集する。
3 評議員会の議長は、評議員会長とする。
4 評議員会は、理事会の諮問に応じ、第14条に定める社員総会の決議事項のほか、この法人の運営全般について意見を述べるができる。
5 評議員会の決議は、評議員現在数の過半数が出席し、出席した当該評議員の過半数をもって行う。

第8章 資産及び会計

(事業年度)

- 第36条 この法人の事業年度は、毎年8月1日に始まり翌年7月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

- 第37条 この法人の事業計画書、収支予算書については、毎事業年度の開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。
2 前項の書類については、主たる事務所（及び従たる事務所）に、当該事業年度が終了するまでの間備え置くものとする。
3 第1項で承認された事業計画・収支予算は直近の社員総会に報告しなければならない。

(事業報告及び決算)

- 第38条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経て、定時社員総会に提出し、第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第5号までの書類については承認を受けなければならない。
(1) 事業報告
(2) 事業報告の附属明細書
(3) 貸借対照表
(4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
(5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
2 前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間（また、従たる事務所に3年間）備え置くものとする。
(1) 監査報告
(2) 理事及び監事の名簿

(剰余金の分配)

- 第39条 この法人は、剰余金の分配は行わない。

第9章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

- 第40条 この定款は、社員総会の決議によって変更することができる。

(解 散)

- 第41条 この法人は、社員総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(残余財産の帰属)

- 第42条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、社員総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第10章 公告の方法

(公告の方法)

第43条 この法人の公告は、この法人の主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

第11章 事務局

(事務局の設置等)

第44条 この法人の事務を処理するために、事務局を設置する。

- 2 事務局には、所要の職員を置く。
- 3 職員は、理事長が理事会の承認を得て任免する。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により理事長が別に定める。

第12章 補 則

(委 任)

第45条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に関する事項は、理事会の決議により別に定める。ただし、この定款の施行についての細則は、理事会及び社員総会の決議を経て、別に定める。

附 則

- 1 この法人は、その主たる事務所の所在地において設立の登記をすることにより成立する。
- 2 任意団体の日本体力医学会の正会員、名誉会員、賛助会員であって、第7条に規定する正会員、賛助会員の資格を有する者及び団体は、第8条の規定にかかわらずこの法人成立の日にこの法人に入会したものとみなす。
- 3 任意団体の日本体力医学会の評議員は、この法人成立の日にこの法人の評議員に選任されたものとみなす。
- 4 この法人の最初の理事の任期は、平成27年開催予定の定時社員総会終結の時までとする。
- 5 第7条第2項の規定にかかわらず、この法人の設立時社員は、次のとおりとする。

設 立 時 社 員 (住所記載省略)

下 光 輝 一

設 立 時 社 員 (住所記載省略)

小 野 寺 昇

- 6 この法人の設立時役員は、次のとおりとする。

設 立 時 理 事 荒 尾 孝

設 立 時 理 事 碓 井 外 幸

設 立 時 理 事 大 野 誠

設 立 時 理 事 小 野 寺 昇

設 立 時 理 事 勝 村 俊 仁

設 立 時 理 事 川 久 保 清

設 立 時 理 事 川 原 貴

設 立 時 理 事 栗 原 敏

設 立 時 理 事 坂 本 静 男

設 立 時 理 事 定 本 朋 子

設 立 時 理 事 下 光 輝 一

設 立 時 理 事 下 村 吉 治

設 立 時 理 事 鈴 木 政 登

設 立 時 理 事 武 政 徹

設 立 時 理 事 竹 森 重

設 立 時 理 事 田 中 喜 代 次

設 立 時 理 事 田 中 宏 暁

設 立 時 理 事 田 畑 泉

設 立 時 理 事 鳥 居 俊

設 立 時 理 事 永 富 良 一

設 立 時 理 事 西 平 賀 昭

設 立 時 理 事 浜 岡 隆 文

設 立 時 理 事 福 永 哲 夫

設 立 時 理 事 山 内 秀 樹

設 立 時 理 事 吉 岡 利 忠

設 立 時 代 表 理 事 下 光 輝 一

設 立 時 監 事 小 林 康 孝

設 立 時 監 事 能 勢 博

一般社団法人 日本体力医学会 定款施行細則

第1章 通 則

第1条 一般社団法人日本体力医学会定款第45条に基づき、会員、役員及び評議員の選出、委員会、学術集会等に関する諸規程を設ける。

第2章 会 員

第2条 この法人の会費は、次のとおりとする。

- (1) 正 会 員 年額 10,000円
- (2) シニア会員 年額 5,000円
- (3) 賛 助 会 員 年額 1口以上（1口50,000円）

2 会費は年度末までにそれぞれ納入しなければならない。

3 正会員、シニア会員ならびに名誉会員は、学術講演会及び機関誌に業績を発表することができ、また、機関誌等の頒布を受けるものとする。

4 賛助会員は、機関誌の頒布を受けるものとする。

第3条 シニア会員の認定は、本人の申請により理事会で行う。

2 シニア会員の認定を受ける正会員は、次のいずれも満たす者とする。

- (1) シニア会員を申し込むときの年齢が満70歳以上であること。
- (2) 日本体力医学会の正会員歴20年以上であること。

3. シニア会員の認定を受けた者は、評議員の資格を喪失する。

第3章 評議員の選出等

第4条 評議員の選出は、推薦された評議員候補のうちから選考委員会の議を経て、評議員会で選任する。

2 評議員の選出に必要な事項は、別に「評議員選考内規」に定める。

第4章 理事候補、評議員会長候補及び監事候補の選出等

第5条 理事候補者、評議員会長候補者及び監事候補者は、別に定める「選挙管理規程」に従い、4年毎に評議員の選挙によって選出する。

2 理事については、定款の規定により任期満了となる選任2年後の社員総会において、理事再任の承認を得ることにより、在任期間を4年とする。

第5章 委 員 会

第6条 この法人にその事業遂行のために、次の常設委員会を置く。

- (1) 総務委員会
- (2) 編集委員会
- (3) 学術委員会
- (4) 財務委員会
- (5) 評議員選考委員会
- (6) 渉外委員会
- (7) 倫理委員会
- (8) 利益相反委員会

- 2 各常設委員会の任務，任期，定員等は，別に定める。

第7条 この法人に，常設委員会の他，総会又は理事会の決議により必要があると認めたときは特定の事項を行わせるため特別委員会を置くことができる。

第6章 学術講演会，大会長等

第8条 学術大会に大会長を置く。

第9条 大会長は，理事会が推薦し，社員総会で選任する。

- 2 大会長は，当該年度の学術集会を組織し運営にあたる。
- 3 学術集会の運営等に関する規程は，別に定める。

第10条 大会長は，理事長の判断により必要な理事会に出席する。但し，議決権を持たない。

第11条 この法人は，理事会の議を経て，学術講演会，研修会，市民公開講座等を開催できることとする。

第7章 顧 問

第12条 この法人に，1名以上5名以内の顧問を置くことができる。

- 2 顧問は，この法人における理事長の経歴を有する者で，次の職務を行う。
 - (1) 理事長の相談に応ずること。
 - (2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること。
- 3 顧問の選任及び解職は，理事会において決議する。
- 4 顧問は，無報酬とする。

第8章 表 彰

第13条 この法人は，日本体力医学会学会賞等を設ける。各賞に関する事項は，学会賞選考委員会規程に定める。

第9章 補 則

第14条 この細則の変更は，社員総会の決議を経なければならない。

附 則

1. この細則は，この法人成立の日から施行する。



体力科学投稿規定

改訂：2019（令和元）年11月15日

I. 投稿資格

本誌への投稿は本学会の会員・非会員を問わない。また、編集委員会が必要と認めた場合、会員・非会員を問わず投稿を依頼することができる。

II. 掲載採否・順序

原稿の採否は、原則として2名の査読審査により編集委員会にて決定する。査読者からの意見やコメント等は2ヶ月以内に修正した論文を提出する。期限内に提出されなかった論文は不採択とする。掲載は原則として採択順とする。

III. 原稿の種類

総説、原著、ノート、資料、事例報告（症例報告を含む）、教育講座、抄録、その他（Letter to the Editor, 議事録, 学会記事, 会報など）とし、原則として和文のみとする。

- A. オンライン投稿：投稿総説、原著、ノート、資料、事例報告（症例報告を含む）とする。
- B. 依頼総説、教育講座、地方会抄録、その他（Letter to the Editor, 議事録, 学会記事, 会報など）は、J-STAGE オンライン投稿審査システムを使用せず、以下のE-mailアドレスへ添付ファイルで投稿する。

hj-tairyoku@turui.co.jp

IV. 原稿一般規定

ヒトおよび実験動物を対象とした研究の原著、ノート、資料および事例報告（症例報告を含む）では、当該研究施設等の倫理審査委員会あるいは動物実験委員会等の承認を受けた研究であることを「方法」に明記し、承認番号を記載するものとする。掲載された論文の著作権は日本体力医学会に帰属する。

- A. 使用ソフトウェア：下記の汎用ファイルで作成する。
 - 本文ファイル：Microsoft Office Word
 - 図表ファイル：Microsoft Office Word, Excel, PowerPoint, PDF, JPEG
- B. 用紙設定：和文、英文抄録ともに、用紙設定をA4判とし、上下左右3cmの余白を設け、左側に行番号を入れ、一段組みで10.5ポイント以上の文字でダブルスペースにて入力する。
- C. 用語：日本医学会医学用語管理委員会編「日本医学会用語辞典」英和改訂第3版（2007年出版）、和英（1994年出版）を参照する。
- D. 文体：原稿は、平かな、新かなづかい。当用漢字、外国語、外国固有名詞、化学物質名などは原語、外来語、動植物名などは片かな、数字はアラビア数字を使用する。
- E. 単位及び単位記号：原則として国際単位系（SI）に従うが、当該領域で慣用されているものはこの限りではない。
- F. 図表：説明は英文で適切な題目をつけ、それに続いて図表の内容が理解できる説明を別紙に記載する。
- G. 掲載料及び別刷料：1頁あたり5,000円の掲載料を著者が負担する。（2,400字が刷り上がり1頁に相当する）カラー頁は、1頁あたり20,000円の掲載料を著者が負担する。別刷料は著者負担とする。なお、論文掲載後に正誤表を新たに追加する際、その料金は著者負担とし、1頁につき10,000円の掲載料を負担する。地方会抄録の掲載料は原則無料とする。ただし、地方会大会事務局が認めた非学会員の抄録掲載料は、1演題あたり3,000円とする。その他、学会大会および地方会大会で大会事務局が招聘した発表抄録の掲載料は原則無料とする。

H. 校正：編集委員会の決定した期日内で、校正はすべて著者の責任により行う。

I. 投稿についての問い合わせ

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1

鶴岡印刷株式会社内 「体力科学」編集事務局宛

〔電話FAX 共通 0235-22-3120〕E-mail : hj-tairyoku@turuin.co.jp

V. 投稿規定

A. 原著および総説

1. 論文は独創性に富み、未投稿の研究論文とする。1頁目には、表題、著者名、共著者名、所属機関名、所在地の各（和・英）と、別刷希望部数を明記する。また、責任著者名の右にアスタリスク（*）を付し、責任著者のE-mailアドレスを記入する。2頁目には英文抄録とkeywords、3頁目以降に緒言、方法、結果、考察、引用文献、図の説明の順に記載する（図表の挿入位置は本文に赤で示す）。表および図は本文原稿とは別に作成する。また、表および図の中の文字および説明は、英語表記とする。
2. 原稿には英文抄録（Abstract：研究目的、方法、結果、結論などを含めて250words以内で記載）およびその和訳文を付ける。またランニングタイトルは、和文で20字以内を明記し、keywords（5語以内）を付ける。KeywordsはMedical Subject Headings（国立医学図書館：最新号）を参考にする。
3. 本文中で引用文献に言及した場合、文章の右肩か著者名の右肩に、末尾の引用文献に照応する番号を付ける。3人以上の共著の場合は“ら”“et al.”を用いる。
 - 例1：長島¹⁾によれば……………
 - 例2：手島と角田²⁾によれば……………
 - 例3：馬³⁾によれば……………
4. 文献表の作り方
 - 1) 引用文献の記載順序は本文中の引用順に整理して、本文中の番号と照合する。文献表の著者名は“ら”、“et al.”と省略せず、全著者名を列記する。人名の記載順は姓を先にして名を後にする。本文中に引用されていない文献は、文献表に記載しない。doiの記載を推奨する。
 - 2) 雑誌から直接引用する場合
 - 番号、著者名：論文表題、掲載雑誌、巻：頁（始頁－終頁）、西暦年数の順に記す。
 - 例1：長島未央子：長時間自転車運動が鍛練者の酸化ストレス度及び血中ビタミン濃度に及ぼす影響, 体力科学, 60: 279-286, 2011. doi: 10.7600/jspfsm.60.279.
 - 例2：手島貴範, 角田直也：身長相対発育からみた男子サッカー選手の大腿部筋厚発育とボールキック能力の発達, 体力科学, 60: 195-205, 2011. doi: 10.7600/jspfsm.60.195.
 - 例3：馬 佳濤, 柴田 愛, 村岡 功：インターネットを利用する中国成人における推奨身体活動充足に関連する社会人口統計学的要因, 体力科学, 60: 185-193, 2011. doi: 10.7600/jspfsm.60.185.
 - 3) 単行本から引用する場合
 - 番号、著者または編者名、章名、書名（章名がある場合は書名をイタリック体にする）、版数（括弧に入れる）、編者名（章著者がある場合）、発行所、発行所の所在地、引用頁、西暦年数の順に記す。
 - 例：彼末一之, 中島敏博. 4. 神経機構 I - 温度求心路と体温調節「中枢」-, 脳と体温 - 暑熱・寒冷環境との戦い -, 共立出版, 東京, 72-97, 2000.
 - 4) 訳本から引用する場合
 - 著者名, (訳者名), タイトル, 出版社, 地名, ページ, 出版年の順に記す。
 - 例：アメリカスポーツ医学協会編（日本体力医学会体力科学編集委員会監訳）, 運動処方



の指針-運動負荷試験と運動プログラム-原著第8版, 南江堂, 東京, 57-108, 2011.

5) 欧文の雑誌と単行本から引用する場合

例 1 : Steinberg SF. The molecular basis for distinct β -adrenergic receptor subtype actions in cardiomyocytes. *Circ Res* 85: 1101-1111, 1999. doi:10.1161/01.RES.85.11.1101.

例 2 : Bajotto G, Shimomura Y. Determinants of disuse-induced skeletal muscle atrophy: Exercise and nutrition countermeasures to prevent protein loss. *J Nutr Sci Vitaminol* 52: 233-247, 2006. doi:10.3177/jnsv.52.233.

例 3 : Sato S, Nomura S, Kawano F, Tanihata J, Tachiyashiki K, Imaizumi K. Effects of the β_2 -agonist clenbuterol on β_1 - and β_2 -adrenoceptor mRNA expressions of rat skeletal and left ventricle muscles. *J Pharmacol Sci* 107: 393-400, 2008. doi:10.1254/jphs.08097FP.

例 4 : Shimomura Y, Murakami T, Nakai N, Nagasaki M. Exercise and metabolism in muscle cells: Molecular aspects of energy metabolism during exercise and adaptation to exercise training. *In: Exercise, Nutrition, and Environmental Stress Vol.1* (Nose H, Gisolfi CV, Imaizumi K, eds.), Cooper Publishing Group, LLC., MI, USA, 89-116, 2001.

B. ノート, 資料および事例報告 (症例報告を含む)

原著及び総説の投稿規定に準ずる. 但し, ノートおよび事例報告 (症例報告を含む) は原則として刷り上がり 4 頁以内, 図表は 2 点までとする.

C. 依頼総説および教育講座

1. 依頼総説および教育講座は, 体力科学編集委員会の依頼による.

2. 原稿について

1) 依頼原稿は刷り上がり 10 頁以内を原則とする.

2) いずれの原稿も表題, 著者名, 所属などは体力科学投稿規定 V-A に準じて英文名を附す. 教育講座では必ずしも英文抄録を必要としないが, 依頼総説では体力科学投稿規定 V-A に準ずる.

D. 地方会の抄録

原稿は, 一編 900 字以内で表題, 著者名, 所属, 本文を和文で記す.

※提出期限に遅れた場合, 本誌に掲載されない.

E. その他 (Letter to the Editor, 議事録, 学会記事, 会報など)

※Letter to the Editorの項では, 本誌に掲載された原著, 総説, その他の掲載内容についての質問, 疑問, コメント等を編集委員会に寄せ, それに対する回答を執筆者に求め, その内容を掲載する. 質問者も回答者もすべて実名とする.

VI. 倫理・利益相反

A. 人体ならびにヒト組織を対象とした科学研究を取り扱う論文では, その実験は1964年のヘルシンキ宣言 (<http://www.wma.net/en/30publications/10policies/b3/>) で承認された倫理基準, または2014年12月に文部科学省および厚生労働省により制定された「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」 (<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf>) に従って実施されなければならない. また, ヒト遺伝子を取り扱う実験は, 日本政府のヒトゲノム・遺伝子解析研究 (http://www.lifescience.mext.go.jp/bioethics/hito_genom.html) に従ってなされなければならない. 日本体力医学会編集委員会では, 所属機関の倫理委員会の承認を得た後に実施された研究に限ってその論文の投稿を受け付ける. 当該研究がこれらのガイドラインに従って実施されたことを投稿論文内に明記し, さらに所属機関の倫理委員会が発行した承認書の承認番号を論文中に記載するものとする.

- B. 実験動物を対象とした研究においては、わが国の動物実験関連法規・指針を遵守して実施されなければならない。投稿論文内にはその旨を必ず明記し、所属機関の動物実験委員会等が発行した当該動物実験承認書の承認番号を論文中に記載するものとする。
- C. 総説、原著論文、それに準ずる論文を投稿する際、日本体力医学会における事業遂行に係る利益相反（COI）に関する指針（http://www.jspfsm.umin.ne.jp/coi/coi_guideline.htm）に基づき、該当する場合には（「自己申告による利益相反申告書」（別紙様式1））に記入し、併せて編集事務局に提出するものとする。
- また、記載例に倣って、論文末尾にCOIに関して記載するものとする。項目が網羅されていれば簡潔にまとめて記載できるものとする。記載箇所は参考文献の前とする。

COIに記載を求める事項

- ①当該研究者の所属企業名（部署名，職名）
- ②当該企業からの出資（出資がある場合）
- ③当該研究への関係企業の関与について（研究結果の学会発表や論文発表の決定に関して関係企業が影響力の行使を可能とする契約の有無）
- ④当該研究結果に影響を与えうる企業からの労務提供としての受け入れになっていないか
- ⑤その他、利益相反として申告すべきこと

記載例

- ・ A（著者）はZ社（企業）の社員（取締役・顧問）である。
- ・ Bの配偶者はY社の取締役（顧問）である。ただし、本研究の結論にY社の影響はない。
- ・ CはX社から研究費を受けた。ただし、本研究の結果解釈や結論にX社の関与はない。
- ・ DはV社から講演料を受けた。ただし、本研究の結論にV社の影響はない。
- ・ EはU社の特許を有している。ただし、本研究の結果解釈や結論にU社の関与はない。
- ・ FはT社から会議参加の費用提供を受けた。ただし、本研究の結果解釈や結論にT社の関与はない。
- ・ GはS社から販促資料執筆に対して謝礼を受けた。HはR社より労務提供を受け入れた。ただし、本研究の結論にS社およびR社の影響はない。
- ・ Iに利益相反はない。
- ・ 共著者全員が利益相反はない。

定められた利益相反状態に該当しない場合は、論文末尾に上記の最後の例、「利益相反自己申告：著者全員が利益相反はない」と記載するものとする。

Ⅶ. 著者の資格と著者貢献

投稿に際しては、the International Committee of Medical Journal of Editors（ICMJE）の recommendations（<http://www.icmje.org/recommendations/browse/roles-and-responsibilities/defining-the-role-of-authors-and-contributors.html#two>）にしたがって、投稿原稿の研究における全ての著者の貢献（役割）を明確に説明するものとする。ICMJEでは、以下に示す4つの事項すべてを満たす者が著者であるとしており、これらの条件を満たさない研究者は謝辞に記載する。

- 1) 研究の概念化やデザインなど研究計画の立案、得られたデータの分析や解釈に十分な貢献がある。
- 2) 研究の重要な内容に関して、論文原稿の執筆あるいは推敲している。
- 3) 研究論文の発表に関して、最終的な承認を行っている。



- 4) 研究内容の正確性や完全性に関連する質問が適切に調査あるいは解決されることを保証する上で、作業のすべての側面に対して責任を負うことに同意する。

著者の役割は、最終原稿と共に印刷・公表される。したがって、当該研究における貢献を正確に反映する必要がある。

著者の役割の記載例にしたがって、投稿原稿の最後に、著者は著者全員の研究論文に対する貢献について、著者のイニシャルを使って記載するものとする。

記載例

- ・著者A、著者Bと著者Cは、研究デザインとプロトコルを概念化し、研究機関を決定した。著者Dはデータ収集と組み立てを担当した。著者Eはデータの分析と解釈を担当した。草稿は著者Aが担当した。すべての著者は、原稿を批判的にレビューし、修正し、投稿を承認した。
- ・著者Aは、血液疾患および移植に関する患者データの分析ならびにその解釈を担当した。著者Bは、腎臓の組織学的検査を担当し、かつ原稿の執筆に大きな貢献をした。すべての著者は、最終原稿を熟読した上で、投稿を承認した。

附：投稿論文の種類は概ね次の基準によって分類される。

- 1) 原著：独創的研究で新しい事実と価値ある結論を有するもので、体力科学・スポーツ医学の進歩に貢献するものとする。
- 2) ノート：原著より短い、新しい事実や価値ある結論が含まれるものとする。
- 3) 資料：適切な分析法または調査法による有用な結果が含まれ、公表することにより体力科学・スポーツ医学の分野において会員の研究・実践活動に有用な情報を含むものとする。
- 4) 事例報告(症例報告を含む)：運動・スポーツ等による体力医学・スポーツ医学の立場からみた様々な効果または治療・指導効果等の事例報告。

論文の分類

I 生理科学的研究

- I-1 神経, 感覚
 - I-1-a 末梢神経
 - I-1-b 中枢神経
 - I-1-c 感覚
 - I-1-d 運動制御
- I-2 運動器
 - I-2-a 筋生理
 - I-2-b 筋生化学
 - I-2-c 骨, 関節
- I-3 呼吸, 循環
 - I-3-a 呼吸
 - I-3-b 心臓
 - I-3-c 末梢循環
- I-4 血液, 免疫
 - I-4-a 血液
 - I-4-b 免疫
- I-5 体液, 内分泌
 - I-5-a 体液, 汗, 尿
 - I-5-b 内分泌
- I-6 代謝
 - I-6-a エネルギー代謝
 - I-6-b 糖代謝
 - I-6-c 蛋白代謝
 - I-6-d 脂質代謝
- I-7 栄養, 消化
 - I-7-a 栄養
 - I-7-b 消化, 吸収
- I-8 形態, 体構成
- I-9 加齢, 性差
 - I-9-a 発育発達
 - I-9-b 老化
 - I-9-c 性差
- I-10 環境
 - I-10-a 温湿度
 - I-10-b 気圧, 風圧
 - I-10-c 低酸素
 - I-10-d 高酸素

- I-11 トレーニング
 - I-11-a 呼吸, 循環
 - I-11-b 代謝
 - I-11-c 筋骨格系他
 - I-11-d 体組成
 - I-11-e その他
- I-12 生活, 健康
 - I-12-a 休養, 疲労
 - I-12-b 健康管理
 - I-12-c 疫学
- I-13 バイオメカニクス
 - I-13-a 力学的情報
 - I-13-b 動作分析
 - I-13-c その他
- I-14 遺伝子
 - I-14-a 遺伝子多型
 - I-14-b 遺伝子制御
 - I-14-c その他
- I-15 その他

II スポーツ医学的研究

- II-1 スポーツと疾患
 - II-1-a 呼吸器疾患
 - II-1-b 循環器疾患
 - II-1-c 代謝疾患
 - II-1-d スポーツ外傷
 - II-1-e スポーツ障害
 - II-1-f スポーツ歯科
 - II-1-g その他の疾患
- II-2 リハビリテーション, 運動療法
 - II-2-a リハビリテーション
 - II-2-b 運動療法
- II-3 薬物, ドーピング
- II-4 スポーツ心理学
- II-5 その他

Journal of Physical Fitness and Sports Medicine

Instructions to Authors



Aims and Scope	1
Manuscript Types	1
Journal & Ethics Policies	2
Peer Review Process	6
Copyright, Open Access and Fees	9
Manuscript Submission	10
Manuscript Preparation	10
Accepted Manuscripts	15
Contact	15

Aims and Scope

The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFSM) is an Open Access, international journal that publishes peer-reviewed articles on modern physical fitness and sports medicine. The journal publishes Regular Articles, Short Communications, Case Reports, Study Profiles, Reviews, Short Reviews, Letters to the Editor, and Proceedings.

JPFSM's scope includes physical fitness, sports medicine, exercise physiology and metabolism, muscle biology, biomechanics, bone homeostasis, training sciences, aging and stress responses, health sciences, circadian biology, rehabilitation, and other interdisciplinary sciences.

As the official peer-reviewed journal of the Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine, *JPFSM* serves an ever-growing role in the support of the physical fitness and sports medicine community, especially in Asia. The journal employs rigorous peer review of manuscripts to ensure the highest scientific, publishing and ethical standards for our broad audience of researchers, clinicians, policy makers and others physical fitness professionals.

Manuscript Types

The journal welcomes 7 manuscript types, all of which are subject to peer review.

Regular Articles: Original research undertaken by the author(s) which is novel and significant. Regular Articles should be 6,500 words or less.

Short Communications: Original research undertaken by the author(s), which is more preliminary or has more limited outcomes, than that for Regular Articles. They must be of general or special interest. Short Communications may also contain interesting, potentially significant observations, or negative results that are of narrow scope. Short Communications should be 2,400 words or less.

Case Reports: Brief reports of rare examples or medical cases without precedent, but not hypothesis testing. These articles should be 2,400 words or less.

Study Profiles: Study Profiles describe the details of the design, rationale, methods and analyses, baseline data (if applicable), and outcomes to date (if applicable) of clinical trials or cohort studies. Study Profiles provide more information than the trial registry or the methods section of a Regular Article and aim to aid in the prevention of unnecessary duplication of research and increase transparency. Therefore, preference is given to studies with an extended follow-up or implementation periods. Study Profiles should be 6,500 words or less, and must conform to the relevant reporting guidelines listed in the EQUATOR NETWORK (<https://www.equator-network.org/>), such as the SPIRIT Statement (Standard Protocol Items: Recommendations for Interventional Trials) (<http://www.spirit-statement.org/>).

Reviews: Reviews present novel or unique overviews of recent or important developments in the field. Reviews must be insightful and must address the question(s) of interest using appropriate and fully presented evidence; exhaustive general summaries will not be published. Reviews are usually commissioned by the Editors, however the journal welcomes proposals of 400-800 words, which should be emailed to the Editorial Office. Reviews should be 6,500 words or less.

Short Reviews: Short articles that are overviews of recent research from an author's own laboratory, which should be 2,400 words or less. Short reviews are also commissioned by the Editors, however the journal welcomes proposals of 400-800 words, which should be emailed to the Editorial Office.

Letters to the Editor: Constructive comments and questions on regular articles, reviews, and other articles published in the journal. An opportunity will be provided for rebuttal to the authors in question. Responses from the authors, together with the names of authors and names of those submitting questions or comments, will be published. Instead of using the ScholarOne online submission system, Letters to the Editor should be emailed to the Editorial Office as an attached PDF. (hj-tairyoku@turui.co.jp)

Proceedings: Short summaries of in-progress or completed primary studies that have been presented at the General Sessions of the Annual Meeting of the Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine (JSPFSM), but have not yet been published in a journal. Proceedings articles (up to 1,800 characters) are published in Issue 6 of the journal each year.

Journal & Ethics Policies

JPFSM upholds the highest standards in scholarly publishing.

Before submitting a manuscript to the journal, authors must ensure that they have read and complied with the journal's policies. The journal reserves the right to reject without review, or retract, any manuscript that the Editor-in-Chief believes may not comply with these policies.

The responsibilities of the journal's authors, editors, reviewers and publisher regarding research and publication ethics are described in full below.

Submission to the journal implies that the manuscript has not been previously published (in part or in whole, in any language), is not in press, and is not under consideration for publication elsewhere.

Authors must inform the editors if any related manuscripts are under consideration, in press or published elsewhere. The availability of a manuscript on a publicly accessible preprint server does not constitute prior publication (see ‘Preprints’).

If authors choose to submit their manuscript elsewhere before a final decision has been made on its suitability for publication in *JPFSM*, they should first withdraw it from the journal.

Submission

JPFSM welcomes manuscript submissions from authors based anywhere in the world.

Submission of a manuscript to the journal implies that all authors: have approved it, warrant it is factual, have agreed to its submission, and have the right to publish it.

Originality

Submission to the journal implies that the manuscript is original work. The journal may use Similarity Check plagiarism software (provided by Crossref and powered by iThenticate) to screen manuscripts for unoriginal content. By submitting a manuscript to the journal, authors agree to this screening. Any manuscript with an unacceptable level of unoriginal material may be rejected or retracted at the Editors’ discretion.

Preprints

To support the wide dissemination of research, the journal encourages authors to post their research manuscripts on community-recognized preprint servers, either before or alongside submission to the journal. This policy applies only to the original version of a manuscript that describes primary research. Any version of a manuscript that has been revised in response to reviewers’ comments, accepted for publication or published in the journal should not be posted on a preprint server. Instead, forward links to the published manuscript may be posted on the preprint server.

Authors should retain copyright in their work when posting to a preprint server.

Scoping

When assessing the novelty of a manuscript submitted to the journal, the editors will not be influenced by other manuscripts that are posted on community-recognized preprint servers after the date of submission to *JPFSM* (or after the date of posting on a preprint server, if the manuscript is submitted to the journal within 4 months).

Authorship

Submission to the journal implies that all authors have seen and approved the author list. Changes to the author list after manuscript submission – such as the insertion or removal of author names, or a rearrangement of author order – must be approved by all authors and the editor.

The contributions of all authors must be described at submission based on the International Committee of Medical Journal of Editors (ICMJE) recommendations as follows:

- 1) Substantial contribution to the conception or design of the work, or the acquisition, analysis, or interpretation of data for the work.
- 2) Drafting the work or critically revising it for important intellectual content.
- 3) Final approval of the version to be published.

- 4) Agreement to be accountable for all aspects of the work in ensuring that questions related to the accuracy or integrity of any part of the work are appropriately investigated and resolved.

Each manuscript must contain a ‘Contributions’ section before the References section as described in the ‘Manuscript Preparation’ section below.

Authors cannot be added or deleted from the paper after peer review, nor order of authors changed, without valid reasons and the approval of the Editor-in-Chief.

Image integrity

Authors may digitally manipulate or process images, but only if the adjustments are kept to a minimum, are applied to the entire image, meet community standards, and are clearly described in the manuscript. All images in a manuscript must accurately reflect the original data on which they are based. Authors must not move, remove, add or enhance individual parts of an image. The editors reserve the right to request original, unprocessed images from the authors. Failure to provide requested images may result in a manuscript being rejected or retracted.

Reproducing copyrighted material

If a manuscript includes material that is not under the authors’ own copyright, the authors must obtain permission from the copyright holder(s) to reproduce it.

If a manuscript includes previously published material, the authors must obtain permission from the copyright owners and the publisher of the original work to reproduce it. The authors must cite the original work in their manuscript.

Copies of all reproduction permissions must be included with the manuscript when it is first submitted.

Availability of data and materials

Authors must disclose the source of publicly available data and materials, such as public repositories or commercial manufacturers, by including accession numbers or company details in their manuscript, as appropriate.

Authors may make their own data and materials available by linking from their manuscript to relevant community-recognized public databases or digital repositories. All data sets must be made available in full to the editors and reviewers during the peer review process if requested. Authors commit to preserving their data sets for at least five years from the date of publication in the journal.

The journal encourages authors to grant reasonable requests from colleagues to share any data, materials and experimental protocols described in their manuscript.

Animal/human experimentation

Authors of manuscripts describing work involving humans and/or human tissues must demonstrate that the work has been performed in accordance with the ethical standards formulated in the Helsinki Declaration of 1964, its revisions, and/or the Ethical Guidelines for Medical and Health Research Involving Human Subjects.

Experiments describing work with the human genome should be conducted according to the Japanese Government's "Ethical Guidelines for Human Genome/ Gene Analysis Research".

Furthermore, work in relevant manuscripts must have received approval from the appropriate Institutional Ethics Committee (IEC) prior to being undertaken. The 'Materials and Methods' section must include the relevant ethics statements and specify: the study was carried out in accordance with the appropriate guidelines, and the name of the approving institutional review board or equivalent committee(s) with the approval number.

Manuscripts describing animal experiments must be conducted in accordance with the experimental animal guidelines of the institution as well as the appropriate government guidelines, such as those published by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. The 'Materials and Methods' section of relevant manuscripts must include required ethics statements and specify: the study was conducted according to the appropriate guidelines, the full name of the institutional Animal Care and Use Committee or equivalent ethics committee that approved the work, and the associated permit number(s).

Clinical trial registration

The journal adheres to the International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE) policy on Clinical Trials Registration, which recommends that all clinical trials are registered in a public trials registry at or before the time of first patient enrollment as a condition of consideration for publication. Manuscripts describing clinical trials must include the registration number of the trial and the name of the trial registry.

Reporting guidelines

The journal requires authors to follow the EQUATOR Network's Reporting Guidelines for health research. Study types include, but are not limited to, randomized trials, observational studies, systematic reviews, case reports, qualitative research, diagnostic and prognostic studies, economic evaluations, animal pre-clinical studies and study protocols.

Author competing interests and conflicts of interest

In the interests of transparency, the journal requires all authors to declare any competing or conflicts of interest in relation to their submitted manuscript. A conflict of interest exists when there are actual, perceived or potential circumstances that could influence an author's ability to conduct or report research impartially. Potential conflicts include (but are not limited to) competing commercial or financial interests, commercial affiliations, consulting roles, or ownership of stock or equity.

Authors should list all funding sources for their work in the Acknowledgements section of their manuscript.

When submitting a manuscript, authors must declare a conflict of interests (COI) in accordance with the JSPFSM guidelines. In the event the guidelines are partially applicable, the relevant portion(s) should be described in the "Declaration of Conflict of Interest by Self-report." (Form 1) and uploaded upon first submission of the manuscript.

Authors should declare any conflicts of interest after the Conflict of Interest section as described in the 'Manuscript Preparation' section below.

Confidentiality

The journal maintains the confidentiality of all unpublished manuscripts. By submitting their manuscript to the journal, the authors warrant that they will keep all correspondence about their manuscript (from the Editorial Office, editors and reviewers) strictly confidential.

Self-archiving (Green Open Access) policy

Self-archiving, also known as Green Open Access, enables authors to deposit a copy of their manuscript in an online repository. *JPFMS* encourages authors of original research manuscripts to upload their article to an institutional or public repository immediately after publication in the journal.

Long-term digital archiving

J-STAGE preserves its full digital library, including *JPFMS*, with Portico in a dark archive (see <https://www.portico.org/publishers/jstage/>). In the event that the material becomes unavailable at J-STAGE, it will be released and made available by Portico.

Peer Review Process

Editorial and peer review process

The journal uses single-blind peer review. When a manuscript is submitted to the journal, it is screened by the Editorial Office for the basic technical requirements. It is then assigned to the Editor-in-Chief, who performs an initial screening. Manuscripts that do not fit the technical requirements, journal's scope or are not deemed suitable for publication are rejected without review. Proceedings summaries are screened for suitability, but not sent to peer reviewers. The remaining manuscripts are assigned to an Editor who assigns two reviewers to assess each manuscript. Reviewers are selected based on their expertise, reputation and previous experience as peer reviewers. The deadline for submission of the reviewers' reports varies by article type.

Upon receipt of the two reviewers' reports, the Editor makes the first decision on the manuscript. If the decision is to request revision of the manuscript, authors have 2 months to resubmit their revised manuscript. Revised manuscripts submitted after this deadline may be treated as new submissions. The Editor may send revised manuscripts to peer reviewers for their feedback or may use his or her own judgement to assess how closely the authors have followed the Editor's and the reviewers' comments on the original manuscript.

The Editor then makes a recommendation to the Editor-in-Chief on the manuscript's suitability for publication. The Editor-in-Chief is responsible for making the final decision.

The members of the Editorial Board act in advisory roles, providing feedback as reviewers and making suggestions to improve the journal. In cases where the Editor-in-Chief is an author on a manuscript submitted to the journal, a member of the Editorial Board is responsible for making the final decision on the manuscript's suitability for publication in the journal. Any member of the journal's Editorial Board, including the Editor-in-Chief who is an author on a submitted manuscript is excluded from the peer review process.

Reviewer selection, timing and suggestions

Reviewers are selected without regard to geography and need not belong to the journal's Editorial Board. Reviewers are selected based on their expertise in the field, reputation, recommendation by others, and/or previous experience as peer reviewers for the journal.

Reviewers are invited within 2 weeks of an article being submitted. Reviewers are asked to submit their first review within 2 weeks of accepting the invitation to review. Reviewers who anticipate any delays should inform the Editorial Office as soon as possible.

When submitting a manuscript to the journal, authors may suggest reviewers that they would like included in or excluded from the peer review process. The Editor may consider these suggestions but is under no obligation to follow them. The selection, invitation and assignment of peer reviewers is at the Editor's sole discretion.

Reviewer reports

It is the journal's policy to transmit reviewers' comments to the authors in their original form. However, the journal reserves the right to edit reviewers' comments, without consulting the reviewers, if they contain offensive language, confidential information or recommendations for publication.

Acceptance criteria

If a manuscript satisfies the journal's requirements and represents a significant contribution to the published literature, the Editor may recommend acceptance for publication in the journal.

Articles in *JPFSM* must be:

- within the subject area of the journal's scope
- novel and original
- descriptions of technically rigorous research
- of high interest to the journal's audience
- important additions to the field.

If a manuscript does not meet the journal's requirements for acceptance or revision, the Editor may recommend rejection.

Editorial independence

As the journal owner, the JSPFSM has granted the journal's Editorial Board complete and sole responsibility for all editorial decisions. The JSPFSM will not become involved in editorial decisions, except in cases of a fundamental breakdown of process.

Editorial decisions are based only on a manuscript's scientific merit and are kept completely separate from the journal's other interests. The authors' ability to pay any publication charges has no bearing on whether a manuscript is accepted for publication in the journal.

Appeals

Authors who believe that an editorial decision has been made in error may lodge an appeal with the Editorial Office. Appeals are only considered if the authors provide detailed evidence of a misunderstanding or mistake by a reviewer or editor. Appeals are considered carefully by the Editor-in-Chief, whose decision is final. The guidelines of the Committee on Publication Ethics (COPE) are followed where and when relevant.

Editor confidentiality in peer review

The journal maintains the confidentiality of all unpublished manuscripts. Editors will not:

- disclose a reviewer's identity unless the reviewer makes a reasonable request for such disclosure

- discuss the manuscript or its contents with anyone not directly involved with the manuscript or its peer review
- use any data or information from the manuscript in their own work or publications
- use information obtained from the peer review process to provide an advantage to themselves or anyone else, or to disadvantage any individual or organization.

Conflicts of interest in peer review

A conflict of interest exists when there are actual, perceived or potential circumstances that could influence an editor's or reviewer's ability to act impartially when assessing a manuscript. Such circumstances might include having a personal or professional relationship with an author, working on the same topic or in direct competition with an author, having a financial stake in the work or its publication, or having seen previous versions of the manuscript.

Members of the journal's Editorial Board undertake to avoid or declare any conflicts of interest when handling manuscripts, but it is not always possible to identify potential bias. An editor who declares a conflict of interest is unassigned from the manuscript in question and is replaced by a new editor. Reviewers are asked to declare any conflicts of interest to the Editor, who will determine the best course of action.

Errata and retractions

The journal recognizes the importance of maintaining the integrity of published literature.

A published article that contains an error may be corrected through the publication of an Erratum. Errata describe errors that significantly affect the scientific integrity of a publication, the reputation of the authors, or the journal itself. Authors who wish to correct a published article should contact the editor who handled their manuscript or the Editorial Office with full details of the error(s) and their requested changes. In cases where co-authors disagree over a correction, the Editor-in-Chief may consult the Editorial Board or external peer reviewers for advice. If a Correction is published, any dissenting authors will be noted in the text.

A published article that contains invalid or unreliable results or conclusions, has been published elsewhere, or has infringed codes of conduct (covering research or publication ethics) may be retracted. Individuals who believe that a published article should be retracted are encouraged to contact the journal's Editorial Office with full details of their concerns. The Editor-in-Chief will investigate further and contact the authors of the published article for their response. In cases where co-authors disagree over a retraction, the Editor-in-Chief may consult the Editorial Board or external peer reviewers for advice. If a Retraction is published, any dissenting authors will be noted in the text.

The decision to publish Errata or Retractions is made at the sole discretion of the Editor-in-Chief.

Responding to potential ethical breaches

The journal will respond to allegations of ethical breaches by following its own policies and, where possible, the guidelines of COPE.

Reviewer Confidentiality

As part of their responsibilities, reviewers agree to maintain the confidentiality of unpublished manuscripts at all times. By accepting the invitation to review a manuscript, reviewers agree not to:

- disclose their role in reviewing the manuscript
- reveal their identity to any of the authors of the manuscript
- discuss the manuscript or its contents with anyone not directly involved in the review process
- involve anyone else in the review (for example, a post-doc or PhD student) without first requesting permission from the Editor
- use any data or information from the manuscript in their own work or publications
- use information obtained from the peer review process to provide an advantage to themselves or anyone else, or to disadvantage any individual or organization.

Copyright, Open Access and Fees

JPFSM is fully Open Access and uses a Creative Commons (CC) license to publish articles, which allows users to use, reuse and build upon the material published in the journal without charge or the need to ask prior permission from the publisher or author, within the stated conditions of the license. More details on the CC license used are below.

Copyright and licensing

Authors are required to assign all copyrights in the work to the JSPFSM, who then publish the work under the Creative Commons [CC BY-NC-ND 4.0](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/) (Attribution-NonCommercial-NoDerivatives 4.0 International). This license allows users to share unmodified articles, non-commercially, as long as appropriate credit is given.

Some funding bodies require articles funded by them to be published under a specific Creative Commons license. Before submitting your work to the journal, check with the relevant funding bodies to ensure that you comply with any mandates.

Page and color charges

There are many costs associated with publishing scholarly journals, such as those of managing peer review, copy editing, typesetting and online hosting. To cover these costs in the absence of journal subscriptions, authors (or their representatives) are asked to pay page charges. There is no submission fee.

Page charges are listed in the table below (in Japanese yen, not including tax). The corresponding Author will be invoiced after publication. Invited Reviews and Short Reviews have no page charges.

Color charges are only charged if authors choose to have color figures in the print version. The Editorial Office liaises with authors as required after acceptance, and charges are listed below.

	Page Charge (yen/page)	Color figures (yen/page)
Regular Article	5,000	20,000
Short Communication	5,000	20,000
Case Report	5,000	20,000
Study Profile	5,000	20,000
Review (submitted)	5,000	20,000
Short Review (submitted)	5,000	20,000
Letters to the Editor	0	0
Correction	10,000	20,000

Waiver policy

Waivers for page charges are provided automatically when the corresponding author is from a “Group A” Research4Life country. In cases of demonstrated financial hardship, the journal will consider a pre-submission application for a waiver from any corresponding author to [hj-tairyoku@uruin.co.jp]. Applications cannot be made after the peer review process has begun.

The ability of an author to pay the APC does not influence editorial decisions. To avoid any possibility of undue influence, Editors involved with the decision-making process for articles are not involved in any deliberations on waivers.

Manuscript Submission

All manuscripts except Letters to the Editor and Proceedings articles must be submitted via the journal’s online submission system, Editorial Manager: <http://www.editorialmanager.com/jpfsm/>. The original or revised manuscript text may be uploaded as a PDF or Microsoft Word file, but a Word file is required for the final manuscript text. Figures may be submitted separately in several other formats.

Letters to the Editor must be submitted via hj-tairyoku@uruin.co.jp as an attached file.

Proceedings articles must be submitted through the Annual Meeting website by the submission deadline. Proceedings submission guidelines will be available at the Annual Meeting website.

If you encounter any problems with your submission, please contact the Editorial Office at the details provided in the Contact section below.

Manuscript Preparation**Required Submission Form**

A completed ‘[Required Submission Form](#)’ must be uploaded with the manuscript as a cover letter.

Style

Manuscripts should be prepared in Microsoft Word or other appropriate software, with margins of at least 3 cm. Authors should use Times New Roman 12pt font double-spaced on A4 size paper, single sided and line-numbered throughout.

English standards

Only manuscripts that are written in clear and concise English will be considered for peer review. If English is not the authors' first language, the Editorial Board recommends the manuscript receives professional editing service before submitting their manuscript to the Journal. English editing and revision will be conducted on manuscripts whose English grammar, spelling, etc. is judged to be inadequate by the Editorial Board.

Title Page, Abstract, keywords and other

The title page (page 1) should start with the type of manuscript (Regular Article, Short Communication, Review, etc.), the title, name(s) of the author(s), affiliation(s), mailing address(es), number of tables and figures, a brief running title (70 characters or less). The

corresponding author's e-mail address should be included in the title page. An asterisk (*) should be added to the right of the corresponding author's name.

The Abstract (page 2) should clearly express the basic content of the paper in a single paragraph and should include the problem addressed, experimental approach, main results and findings, and conclusions. Abstracts must not exceed 250 words for all article types. Avoid using specific abbreviations. If it is essential to refer to a previous publication, omit the article title (e.g. Maekawa, S., Endo, S., and Sakai, H. (2015). *Sci. Journal.*, 14: 10–15).

Three to six descriptive keywords should be included after the Abstract, listed in decreasing order of importance. The keywords must be less than 80 characters and independent of each other.

Upon acceptance of an article by the Journal, the abstract will be published on the homepage of the Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine.

If a manuscript is written by authors resident in Japan Page 3 should contain the following information in Japanese: article title, author(s) names, affiliation(s), and abstract.

Title

The title should describe the content of the article briefly but clearly and is important for search purposes by third-party services. Do not use the same main title with numbered minor titles, even for a series of papers by the same authors. Do not use abbreviations in the title, except those used generally in related fields.

Affiliations

For the Title Page, provide full names and addresses of institutions (including laboratory, department, institute and/or university, city, state and country).

When there are two or more authors and they belong to more than one affiliation, the connection between each author and his or her affiliation should be indicated by italicized superscript ¹, ², ³... placed after each author's name and before each affiliation. Examples can be seen in recent issues of the journal.

Running Title

The running title should not exceed 50 characters, including spaces.

Abbreviations

Each abbreviation should be defined in parentheses together with its non-abbreviated term when it first appears in the text (except in the Title and Abstract). Common abbreviations that may be used without any explanation include the list below.

AMP, ADP, ATP, cAMP, cDNA, CoA, DNA, RNA, mRNA, LD50, FAD, FMN, GMP, P450.

Units and nomenclature

The following units should be used: length (m, cm, mm, μm , nm), mass (kg, g, mg, μg , ng, pg, mol, mmol, μmol , nmol), volume (l, ml, μl), time (s, min, h, d), temperature ($^{\circ}\text{C}$, K), radiation

(Bq, Ci, dpm, Gy, rad), and concentration (M, mM, mol/l, mmol/l, mg/ml, µg/ml, ng/ml, pg/ml, %, %(v/v), %(w/v), ppm, ppb).

Otherwise, SI or SI-derived units should be used. More information on SI units is available at the [Bureau International des Poids et Mesures \(BIPM\) website](http://www.bipm.org).

The nomenclature used for chemical compounds shall be in accordance with the relevant IUPAC rules.

Main text

Each Original Article should comprise the following main text sections in this order: Introduction, Materials and Methods, Results and Discussion. The Results and Discussion may also be combined as Results and Discussion), Acknowledgments, References. (The Contributions and Conflicts of Interest sections should follow the main text).

Case Reports should be organized as follows: Abstract, Introduction, Case Report, Discussion, References. (The Contributions and Conflicts of Interest sections should follow the References section).

The organization of other article types is up to author preference.

Acknowledgments

This section should be brief. Authors should list all funding sources for their work in the Acknowledgements section.

References

References should be restricted to only those that are essential, and extensive review of the literature should be avoided. References cited in the text should be numbered (in italic) in order of appearance and listed at the end of the text. Indication of doi (digital object identifier) is encouraged.

For references with only one author:

Steinberg SF. 1999. The molecular basis for distinct β -adrenergic receptor subtype actions in cardiomyocytes. *Circ Res* 85: 1101-1111. doi: 10.1161/01.RES.85.11.1101.

Two authors:

Bajotto G and Shimomura Y. 2006. Determinants of disuse-induced skeletal muscle atrophy: Exercise and nutrition countermeasures to prevent protein loss. *J Nutr Sci Vitaminol* 52: 233-247. doi: 10.3177/jnsv.52.233.

Up to twenty authors:

Author A, Author B, Author C, Author D, Author E, Author F, Author G, Author H, Author I, Author J, Author K, Author L, Author M, Author N, Author O, Author P, Author Q, Author R, Author S and Author T. 2008. Effects of the β 2-agonist clenbuterol on β 1- and β 2-adrenoceptor mRNA expressions of rat skeletal and left ventricle muscles. *J Pharmacol Sci* 107: 393-400. doi: 10.1254/jphs.08097FP.

More than twenty authors; list the first twenty followed by et al.:

Author A, Author B, Author C, Author D, Author E, Author F, Author G, Author H, Author I, Author J, Author K, Author L, Author M, Author N, Author O, Author P, Author Q,

Author R, Author S and Author T. et al. 2012. Some aspects of heat stress on the plasticity of skeletal muscle cells. *J Phys Fitness Sports Med* 1: 197-204. doi: 10.7600/jpfsm.1.197.

Citation from a book:

Shimomura Y, Murakami T, Nakai N and Nagasaki M. 2001. Exercise and metabolism in muscle cells: Molecular aspects of energy metabolism during exercise and adaptation to exercise training. *In: Exercise, Nutrition, and Environmental Stress* (Nose H, Gisolfi CV, Imaizumi K, eds.), 1: 89-116, Cooper Publishing Group, LLC., MI, USA.

Citation from a paper in Japanese:

Nagashima M. 2011. Effects of endurance exercise on oxidative stress and antioxidant vitamin levels in trained cyclist. *Tairyoku Kagaku (Jpn J Phys Fitness Sports Med)* 60: 279-286 (in Japanese). doi: 10.7600/jspfsm.60.279.

If more than two references with the same year and author(s) are cited, use lowercase letters after the year (Tanaka et al. 2015a, 2015b). Lowercase letters should be inserted in same-year references in the reference list

Tables

Number tables consecutively using Arabic numerals (Table 1, Table 2, etc.). A title should be given at the top of each table. Explanatory material and footnotes should be typed below the table and should be designated with superscript letters, such as a) or b). Units of measurement should be included with numerical values at the top of columns. Avoid detailed explanations of the experimental conditions used to obtain the data shown in tables (which should be included in other sections as relevant).

Figures

Figures should be of high enough resolution for direct reproduction for printing. Note that 'figures' includes line drawings and photographs, as well as charts. Magnifications of photographs should be indicated in the legends and/or by scales included in the photographs. Illustrations must be self-explanatory and they should be numbered consecutively with Arabic numerals (i.e., Fig. 1, Fig. 2, etc.). Each figure should have a short title. Figure legends should be typed together in a separate sheet(s). Figure legends should include sufficient experimental details to make the figures intelligible; however, duplicating the descriptions provided in other sections should be avoided.

Drawings prepared with the aid of software packages are acceptable as long as they are high-quality print-out ready. Drawings prepared for oral presentation are seldom suitable for use in printed documents. All figures should be marked with the first author's name and number in the lower right corner of each sheet.

The appropriate location of each table or table embedded in the text should be indicated in red ink in the margin of the manuscript. Duplication of data in tables and figures should be avoided. The cost of color reproduction of figures will be charged to the author(s).

Contributions

A Contributions section must be included that concisely describes each author's contributions; use initials to indicate author identity. It is expected that all authors will have reviewed,

discussed, and agreed to their individual contributions ahead of time. Contributions statements will be published in the final article, and they should accurately reflect contributions to the work.

If authors do not meet the ICMJE recommendations for authorship (see the ‘Authorship’ section), they should be acknowledged in the Acknowledgements section.

The following are some example statements.

Example 1: AA, BB and CC conceptualized the study design and protocol, and determined the study institutions. DD collected and assembled the data. EE carried out the analysis and interpretation of data. AA drafted the manuscript. All authors have critically reviewed, revised and approved the manuscript.

Example 2: Experiment conception and design: AA and BB. Experiment implementation: CC. Data analysis: DD and EE. Paper composition: AA. Analyzing and writing advisory: BB and CC. All authors approved the final version of the manuscript.

Example 3: Conceived and designed the study: AA. Performed the study: BB, CC, DD. Analyzed the data: FF and EE. Interpreted the data: AA and BB. Wrote the paper: AA. All authors approved the final version of the manuscript.

Example 4: AA analyzed and interpreted the patient data regarding hematological disease and transplants. BB performed the histological examination of the kidney, and was a major contributor in writing the manuscript. All authors read and approved the final manuscript.

Conflicts of Interest

A Conflicts of Interest statement must be included in each manuscript. Background guidance is supplied in the ‘Author competing interests and conflicts of interest’ section above. See also the [JPFSM guidelines](#).

Each statement must include the following elements, as relevant:

1. Name(s) of the company of authors (including the position and the department)
2. All financial support from the business that the authors work for (if the submitted research is financially supported by a business)
3. Description of funder’s role in the study design, collection, analysis, and interpretation of data, writing of the paper, and/or decision to submit for publication
4. Labor supply from the business
5. Any other conflicts of interest.

Example statements are as follows:

Example 1. The authors have read the journal's policy and have the following conflicts: AA, BB, CC, DD, and EE are employees of XXX Corporation, who supported the present study, in part. However, the sponsor had no role in the study design, data collection and analysis, decision to publish, or preparation of the manuscript. There are no patents, products in development or marketed products to declare. The authors declare no competing interests.

Example 2. AA, BB, CC, and DD are employees of YYY Corporation. EE has not received any payments for a given study from YYY Corporation. The authors have declared that no competing interests exist. This does not alter the authors’ adherence to the Journal of Physical Fitness and Sports Medicine’s policies.

Example 3. In the event there are no conflicts of interest within the policies stated within this document (or as referred to elsewhere), this should be declared by writing “Conflicts of Interest: The author(s) declare that there are no conflicts of interest”.

Accepted Manuscripts

After a manuscript has been accepted, authors will require to submit the final manuscript files to ScholarOne. Manuscripts that are accepted for publication are copyedited and typeset by the journal’s production team before publication. The journal is published 6 times per year in print and online. All communication regarding accepted manuscripts is with the corresponding author.

Proofs

Page proofs are sent to the corresponding author, who should check and return them within 7 days. Only essential corrections to typesetting errors or omissions are accepted; excessive changes are not permitted at the proofing stage.

Reprints

Order forms for reprints are sent with the proofs to the corresponding author and should be returned with the proofs.

Contact

To contact the Editorial Office or the Editor-in-Chief, please write to:

Editorial Office

1-1 Doai Oyodogawa, Tsuruoka, Yamagata 997-0854, Japan
E-mail: hj-tairyoku@turui.co.jp

For other matters, write to:

Business Office

4F, 5-3-13 Otsuka, Bunkyo-ku, Tokyo 112-0012, Japan
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

Updated: 28 October 2020

Journal homepage: <http://www.jspfsm.umin.ne.jp/JPFSM/> Journal content: <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jpfsm>

15

Categories covered

- | | | |
|--------------------------------------|--|-----------------------------------|
| 1 Nervous and sensory system | 2 Motor control | 3 Musculoskeletal system |
| 4 Respiratory and circulatory system | 5 Hematology and immunology | 6 Humor and endocrinology |
| 7 Metabolism | 8 Nutrition and digestion | 9 Morphology and body composition |
| 10 Aging and gender difference | 11 Environmental physiology | 12 Exercise training |
| 13 Lifestyle and health | 14 Biomechanics | 15 Genes and gene regulation |
| 16 Sports medicine and diseases | 17 Rehabilitation and exercise therapy | 18 Drug and doping |
| 19 Sports psychology | 20 Miscellaneous | |

ご 案 内

〈各種手続方法〉

	連 絡 先	住 所	電 話 番 号	備 考
正会員の入退会 及び住所所属変更	一般社団法人 学会支援機構 一般社団法人日本体力医学会事務局	〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階 E-mail:jspfsm@asas-mail.jp	TEL 03(5981)6015 FAX 03(5981)6012	入会は評議員1名の推薦が必要 入会はHPより登録 http://www.jspfsm.umin.ne.jp/information/index.htm
正会員の会費納入	〃	〃	〃	年会費 10,000円 (事務局より送付される 所定振込用紙を使用)
購読会員の入退会 及び購読料納入	〃	〃	〃	年間 13,200円
学会誌のバック ナンバーの販売	〃	〃	〃	
賛助会員に関する業務	〃	〃	〃	
和文誌の投稿は http://www.editorialmanager.com/jspfsm/	「体力科学」編集事務局	〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1 鶴岡印刷株式会社内 E-mail:hj-tairyoku@turuin.co.jp	0235(22)3120 TEL, FAX 共通	和文誌「体力科学」 投稿規定はHP参照のこと
英文誌の投稿は http://www.editorialmanager.com/jpfsm/	「JPFSM」編集事務局	〃	〃	英文誌「JPFSM」 投稿規定はHP参照のこと

〈地方会事務局〉

【北海道地方会】

地方会代表：遠山 晴一 事務局長：寒川 美奈
事務局所在地（〒060-0812 北海道札幌市北区12条西5丁目 北海道大学大学院保健科学研究院機能回復学分野）
TEL&FAX：011-706-3329
E-mail：jspfsm-hokkaido@hs.hokudai.ac.jp

【東北地方会】

地方会代表：永富 良一 事務局長：門間 陽樹
事務局所在地（〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号 東北大学大学院医学系研究科運動学分野）
TEL&FAX：022-717-8166
E-mail：h-momma@med.tohoku.ac.jp

【北陸地方会】

地方会代表：増田 和実 事務局長：田村 暢熙
事務局所在地（〒920-0265 石川県河北郡内灘町大学2-224）
TEL：076-286-1078
E-mail：tamura@kanazawa-med.ac.jp

【関東地方会】

地方会代表：竹森 重 事務局長：山内 秀樹
事務局所在地（〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8 東京慈恵会医科大学・分子生理学講座・体力医学研究室（担当 田口美香））
TEL：03-5400-1200（内線2216），FAX：03-3431-3827
E-mail：mol-phys@jikei.ac.jp

【東海地方会】

地方会代表：石田 浩司 事務局長：水野 貴正
事務局所在地（〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町E5-2(130) 名古屋大学総合保健体育科学センター）
TEL：052-789-3959，FAX：052-789-3957
E-mail：mizuno@htc.nagoya-u.ac.jp

【近畿地方会】

地方会代表：吉川 貴仁 事務局長：吉川 貴仁
※代表と事務局長は兼務。

事務局所在地（〒545-8585 大阪府大阪市阿倍野区旭町1-4-3 大阪市立大学大学院医学研究科運動生体医学内）
TEL：06-6645-3790，FAX：06-6646-6067
E-mail：wsports@med.osaka-cu.ac.jp

【中国・四国地方会】

地方会代表：小野寺 昇 事務局長：矢野 博己
事務局所在地（〒701-0193 岡山県倉敷市松島288 川崎医療福祉大学）
TEL：086-462-1111，FAX：086-464-1109
E-mail：jspfsm@mw.kawasaki-m.ac.jp

【北九州地方会】

地方会代表：山津 幸司 事務局長：西田 裕一郎
事務局所在地（〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島5-1-1 佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野）
TEL：0952-34-2287
E-mail：ynishida@cc.saga-u.ac.jp

【南九州地方会】

地方会代表：田巻 弘之 事務局長：與谷 謙吾
事務局所在地（〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地 鹿屋体育大学体育学部スポーツ生命科学系）
TEL：0994-46-4934
E-mail：yotani@nifs-k.ac.jp

〈FIMS(国際スポーツ医学会)事務局〉

FÉDÉRATION INTERNATIONALE DE MÉDECINE
SPORTIVE (F.I.M.S.)

Secretary General of FIMS:
Prof. Lyle J Micheli, MD, USA
Office: Children's Hospital- 2nd floor, Division of Sports
Medicine, 319 Longwood Avenue,
Boston, MA 02115, UNITED STATES OF AMERICA
Tel: +617 355 6970 Fax: +617 730 0694
Email: michelilyle@aol.com
Alternate Email: stacey.cobban@childrens.harvard.edu

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2020年8月）議事録

日 時：2020年8月28日（金）午後5時30分～7時30分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長、

碓井外幸、西平賀昭各副理事長、

武政 徹常務理事、赤間高雄、井福裕俊、

太田 真、大野 誠、栗原 敏、後藤勝正、

下光輝一、須田和裕、須永美歌子、竹森 重、

田中喜代次、中里浩一、永富良一、成田和穂、

浜岡隆文、前田清司、宮内 卓、宮川俊平、

和気秀文各理事、

井上 茂、清田 寛、定本朋子各監事、

徳田修司第75回大会長、

加藤 公第76回大会長

欠席者：小山勝弘、新開省二各理事、小林康孝監事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

理事会終了時までに訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

2. 令和2年度庶務報告に関する件について

（武政総務委員長）

資料②-1、②-2に基づき、令和2年度庶務報告がなされた。

2020年7月31日現在、会員総数は3,943名（昨年度から190名減少）、評議員は529名（内医師77名、非医師452名）、賛助会員6団体、新入会員180名（昨年度から143名減少）、退会者360名（内自然退会177名）であることが報告された。また、2年以上会費未納者リストが提示され、2年以上の会費未納者については、自然退会とすることが承認された。自然退会者リストに載っている会員で、声掛けできる会員には、会費納入の催促をして欲しい旨、依頼された。

3. 令和2年度会計報告に関する件について

（宮川財務委員長）

資料③に基づき、令和2年度決算について、報告された。

収入の部：会費収入は37,210,760円（内正会員35,880,000円）であり、収入合計は87,339,887円となった。

支出の部：第74回大会開催費が予算額より12,582,680円減少したこと、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、国内外交流費、スポーツ医学研修会の中止による運営費の支出減少などにより、支出合計額は80,113,398円となった。その結果、当年度収支差額は7,226,489円の黒字決算の見込みとなった。

第74回大会の会計確認が遅れたため、公認会計士による本決算の監査も遅れ、現在監事による監査が行われている旨、報告された。

4. 令和2年度事業報告に関する件について

（鈴木理事長）

資料④に基づき、令和2年度事業の概要が報告され、特に重要な案件については各種委員会による「報告事項」の項で報告してもらうことにした。

5. 令和3年度会計報告（予算）に関する件について

（宮川財務委員長）

資料⑤に基づき、令和3年度予算案について報告された。

収入の部：現在の会員数および会費納入率実績（90%）に基づいて試算し、正会員会費34,821,000円、会費収入全体では37,091,000円として計上した。収入額合計を59,630,500円として計上した。第75回年次学術大会（於鹿児島）は新型コロナウイルス感染拡大防止の見地からWeb形式に変更したことにより大会開催収入予算（令和2年度予算案）より著しく減少したこと、スポーツ医学研修会中止による研修会収入の減少およびデサントからの協賛金（国際交流基金）が1,000,000円から500,000円減額されたことが、収入予算額合計が前年に比較し約60%に減少した主な理由である。

支出の部：第75回年次学術大会がWeb形式に変更したことやスポーツ医学研修会を中止したことにより事業費支出が前年度予算額の56%に減少したことで、支出合計予算額が59,744,000円となった。当年度収支差額は-113,500円となる見込みである。

また、鈴木理事長より、国際交流基金収入としている、公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団からの助成金は令和3年度からは50万円に減額されたことが追加報告された。また、学会本部と各地方会の収入・支出等の金額が合算表示され判り難かったため、学会本部と地方会の収入・収支欄を明確に区分し、当該年度収入・支出額は学会本部と地方会の合算額として表示し、備考欄に説明を加えた旨、追加報告された。

6. 評議員推薦に関する件

（大野評議員選考委員会委員長）

資料⑥に基づき、評議員選考委員会において候補者8名に対しての審査を行い、全員が評議員選考条件を満たした旨の報告があり、2020年度評議員候補者として8名を評議員に推薦することが承認された。

7. 中富健康科学振興賞被推薦者選考について

（武政総務委員長）

資料⑦-1、⑦-2に基づき、公益財団法人中富健康科学振興財団より中富健康科学振興賞の推薦依頼が届いた旨、報告があった。本賞の選考に関して、2013年9月の理事会に於いて制定された中富健康科学振興賞の「候補者推薦に関する申し合わせ事項」（資料⑦

-2)についても説明された。それらの資料(⑦-1, ⑦-2)の中には具体的な推薦条件が無かったため、総務委員会において、4期12年間の就任歴を持つ、理事長、副理事長、常務理事、理事、評議員会長、各種委員会委員長経験歴、それぞれに点数を付加し、それらの合計点を算出して候補者を選出したことが説明された。その結果、総得点上位3名の被推薦候補者を選出されたことが報告された。次いで、今日出席されている理事による無記名投票により1名の被推薦候補者を選出することになった。そのため、3名の被推薦候補者のうち、今日の理事会に出席している候補者2名には速やかに退席して頂いた。

この間、宮川理事より、「選考過程や評価基準をこの理事会で、考察する必要はないのか。」という質問がなされた。宮川理事の質問に対して、武政総務委員長から、次のような回答がなされた。「本来ならば、選考過程や評価基準については、総務委員会で原案作成後、理事会でそれを審議して頂き、承認を得た上で評価基準を確定し、それを基にして総務委員会で討議し、報告するのが手順である。しかし、本件の依頼が7月に来て、8月28日の理事会で1名の被推薦候補者を決定し、9月末に推薦書を提出しなければならなかったため、今回に限っては総務委員会で点数化したものを算出し、上位3名を被推薦候補者とした。」

これに対して、宮川理事より、次のような意見が出された。「どのような評価基準であるかを役員全員からコンセンサスが得られていないと、今後推薦の問題になることが懸念される。推薦基準は明確にするべきである。」

宮川理事の意見に対して武政総務委員長から、次のような回答がなされた。「今回の推薦後、おそらく2～3年に一度、本件の推薦依頼が来るので、宮川理事がおっしゃるように理事会のコンセンサスを得るために、明確な選考基準を作成し、総務委員会で検討することが必要である。今回は急を要していたため、総務委員会で検討した。理事長、副理事長、常務理事、理事、評議員会長、各種委員会委員長、副委員長、それぞれに点数を付加した。点数化のプロセスを確認頂くため、その表を提示した。尚、総務委員長、編集委員長、学術委員長は、他委員会よりも、業務に携わる時間が長いことから、点数を増やした。」

この説明に対して、宮川理事より、次のような質問がなされた。「長年学会等にご尽力いただいた方々と思うが、例えば、ご所属先での健康科学の発展に功績のあった研究者の業績の評価を考慮するべきではないか。」宮川理事の質問に対して武政総務委員長から、次のような回答がなされた。「中富健康科学振興賞では、それが重要ではあるが、多くの候補者の研究業績を事前段階で集めておくことと、選考の段階で考慮することは、時間的に困難であった。従って、資料⑦-2に示された2013年9月に理事会で承認された「中富健康科学振興賞候補者推薦に関する申し合わせ」にある通り、「日本体力医学会の発展、啓発および普及に極めて貢献度の高い会員および名誉会員から候補者を選定する」という申し合わせに従い、役職の執行状態を考え、貢献を公平かつ正確に点数化することとした。

本来であれば、最終的なプロセスで上位何名かを絞り、それぞれの候補者から健康科学に関係する研究者の研究業績や、社会貢献等を収集し、それらを検討しながら選考することが正当なプロセスだと考えられる。今回はそのプロセス遂行が不可能なため、3名の推薦候補者に対して、理事の方々のご承知の推薦候補者それぞれの研究業績を加味し、今日の投票に備えていただきたい。」

この説明に対して、宮川理事より、次のような質問がなされた。「その3名の資料はないのか。」宮川理事の質問に対して、武政総務委員長から、次のような回答がなされた。「正会員、名誉会員の中から理事を4期12年間以上務めた人物を抽出し、業績、功績を点数化した。点数計算に関しては、総務委員会全員で検算している。その結果、今回、総務委員会では上位3位までを候補者として推薦し、最終候補者1人の決定は本理事会で無記名投票によって決定したい。尚、総務委員会で点数化できなかった学会への貢献として、下光先生は「第71回岩手大会における特別講演」、勝村先生は「第68回東京大会における副会長」、碓井先生は長くスポーツ医学研修会の講師を務めたことである。」が挙げられる。

本賞選考に関して、田中理事より、次のような意見が出された。「健康科学の発展に顕著な功績があった研究者に対する顕彰となっているので、役員としての貢献は大きなポイントになるかと思うが、研究業績も重要である。今回の推薦はともかく、今後はこのことを考慮していくべきである。」

田中理事の質問に対して武政総務委員長から、次のような回答がなされた。「今回については、応募までの時間が無く、集めることが不可能であった。今後は、健康科学に関わる研究業績・社会貢献等も候補者選考の要素となるように総務委員会で選考プロセスの原案を作り、理事会で諮るようにする予定である。」

出席理事のみに投票権があることが承認され、無記名投票がなされた。開票の結果、下光輝一理事が推薦されることになった。

8. 編集委員会 Editorial Managerでの「ORCID」ならびに「Publons」との連携について(後藤編集委員長)

資料に基づき、学会誌JPFISMの投稿に関する査読者についてORCIDならびにPublonsとの連携についての提案がなされた。

- ORCID (Open Research and Contributor Identifier) (非営利団体ORCID.orgが管理)
研究者と業績等を永続的にリンクさせるための研究者統一ID
2020.2.25 Editorial Managerで連携開始。
- Publons (Clarivate Analytics社)
研究者と査読実績をリンクされるためのID
Web of Science Core Collectionの最新被引用数を表示
ORCIDと同期可能
本サービスの利用には料金が発生
① 1ジャーナル利用の場合
Publons Reviewer Recognition -

1,670 USD (税抜き) ※ 1年当たり

② 2 ジャーナル利用の場合

Publons Reviewer Recognition -

2,230 USD (税抜き) ※ 1年当たり

これに対して、須田理事より、次のような質問がなされた。「人によって考え方は違うが、この料金は高額に感じる。尚、査読の履歴が残ることで日本の中で業績として評価している大学はどれくらいあるか。」

須田理事の質問に対して、後藤編集委員長から、次のような回答がなされた。「日本の大学では確認はできていない。外国のみである。」これに対して、須田理事より、次のような意見が出された。「料金が安価であれば問題ないと思う。」

須田理事の質問に対して、後藤編集委員長から、次のような回答がなされた。「料金も含めて検討いただきたい。」

これに関連して、永富理事より、次のような意見が出された。「研究者のメトリックスは多彩になってきており、いずれ日本でのメリットになっていくと思う。自身の査読履歴を登録するかは査読者に選択権があるので、金額については様々な意見があると思う。可能であれば賛成である。」

これに対して、鈴木理事長より、次のような質問がなされた。

「日本の大学や研究機関で、査読をしたことがその人の業績になっておらず、これに対して、20万円近くを毎年払う価値があるのかという懸念がある。但し、査読者は多くの時間を費やして査読しているの、その労に報いることには賛成である。以前、査読の謝礼として2,000円の図書券を配っていたが、後輩の研究者を指導することに対して、代償を支払うことは如何なものか、との意見により廃止された。毎年、編集委員会で査読を何件したか、などの集計を行い、図書券のような副賞を添えて、学会年次大会で感謝状(表彰状)を差し上げる方が業績になると思うが、どうか?」

鈴木理事長の質問に対して、後藤編集委員長から、次のような回答がなされた。「半分は同意見であるが、査読者を学会以外に求めている部分が特に英文誌は多いと考えられる。これからJPFISMが国際的に育っていき、多くの人に早く知ってもらうために、あえて外の仕組みを取り入れることが提案である。」

これに対して、鈴木理事長より、次のような質問がなされた。「今JPFISMを外国の人に査読をしてもらっている件数はどのくらいあるか。」鈴木理事長の質問に対して、後藤編集委員長から、次のような回答がなされた。「まだ、集計はできていない。」

これに関連して、鈴木理事長より、次のような意見が出された。「今ここで、この連携の提案を決定せず、継続審議ということでは如何か?」

これに対して、武政常務理事より、次のような意見が出された。「運動生理学会は査読者には2,000円分の図書カードが送られている。しかし、日本の大学では査読の評価は、少なくとも所属大学では、評価等が無いのが現状である。査読者には図書カードを贈ることや、査読者に直接的に1査読当たりのインセンティブがあることはうれしいことであるので、理事の方々の

承認があれば、この件も含めて、継続審議していただきたい。」

これに関連して、井上監事より、次のような意見が出された。「分野によって状況は異なるかもしれないが、私の周りでは「ORCID」、「Publons」との連携はごく当然のことで、これらに連携していないジャーナルは、今一つなジャーナルという印象を持たれる時代ではないかと危惧する。20万程度であれば導入してよいのではないかとという印象である。」

鈴木理事長より、体力医学会発行の欧文誌JPFISMはPubMedに掲載されておらず、インパクトファクターも付いていない現状で、外国の研究者がJPFISMへ投稿された論文の査読に応じてくれるか否かが懸念される。まず、PubMed掲載やJPFISMに掲載された論文の引用件数の増加等による認知度上昇に努めて貰い、査読者への労に報いるために新たに表彰制度を設ける案が提案され、今回編集委員会から提案された「Editorial Managerでの「ORCID」ならびに「Publons」との連携について」は継続審議とすることが提案された。

【報告事項】

1. 日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者について(碓井称号委員長)

資料⑨に基づき、日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者について報告された。

日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者22名の氏名リストが掲示され、承認された(内、終身称号者は12名)。

2. 各種委員会報告

・総務委員会(武政総務委員長)

令和2年度事業報告資料④に基づき、中富健康科学振興賞候補者推薦に関する情報収集および候補者の検討をしたことが報告された。第77回大会(栃木)の大会長候補者の選考については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から交渉を控えている旨、報告された。

・編集委員会(後藤編集委員長)

資料④に基づき、以下の内容が報告された。

◎学会誌出版(学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開)

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFISM)」

Vol. 8のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 9のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 68のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 69のNo. 1, No. 2, No. 3

※電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施

◎JPFISM掲載論文リストのメール配信

◎投稿規定追記(2019.11.20)

「JPFISM」Author Contributionsを追記

「体力科学」著者の資格と著者貢献を追記

◎JPFISMや体力科学に掲載された論文のキーワード検索について(J-STAGE検索方法)の掲載

(2019/10/11)

- ◎ジャーナルの活性化対策の検討「特集号」の掲載・企画
注目されている hot topic に焦点を当てた「特集号」を掲載
「JPFMS」 Vol. 8, No. 5
第2回特集：Exercise and blood pressure: Towards better management of hypertension by exercise habituation
6編掲載
「体力科学」 Vol. 68, No. 5
第3回特集：介護予防を考える 6編掲載
- ◎JPFMS 海外 Editor 6名の追加 (2019年11月)
- ◎編集委員2名の追加 (2020年5月)
- ◎「Study Protocol 投稿受付一時停止」(2020.7.17)
「Study Protocol」投稿規程検討ワーキンググループによる投稿規程検討
- ◎国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 2020年度ジャーナルコンサルティングに採択 (DOAJ への収録支援)
7/31 ジャーナルコンサルティング「グループセミナー」に参加
- ◎Editorial Manager での「ORCID」ならびに「Publons」との連携
 - ORCID
(2020.2.25 Editorial Manager で連携開始)
 - Publons (Clarivate Analytics 社) 契約検討中 (有料)
- ◎「JPFMS」誌, 「体力科学」誌の投稿・掲載状況資料⑩<投稿状況>
(2019年9月1日~2020年8月4日)
「JPFMS」誌：新規投稿59編 (内海外7編)
※前年同期間：新規投稿49編 (内海外5編)
8/4現在, 審査中14編 (採択25編 (内海外1編), 不採択15編, 原稿取下げ5編)
※受付不可8編 (投稿規定に沿わない等で原稿返却, 国内1編, 海外7編)
「体力科学」誌：新規投稿53編 (依頼総説1編, 依頼教育講座4編, 特集号3編含む)
※前年同期間：新規投稿58編 (依頼総説1編, 依頼教育講座2編, 特集号6編含む)
8/4現在, 審査中14編 (採択18編, 不採択21編)
<発行予定>
「JPFMS」誌
○Vol. 9, No. 5 (2020年9月25日発行)
掲載論文6編予定
○Vol. 9, No. 6 (2020年11月25日発行)
学会大会抄録集
「体力科学」誌
○Vol. 69, No. 5 (2020年10月1日発行)
掲載論文6編予定
○Vol. 69, No. 6 (2020年12月1日発行)
特集号4編予定
- ・学術委員会 (碓井学術委員長)
学術刊行物「医師・コメディカルのためのメディカルフィットネス」の作成, 大塚スポーツ医科学賞

の詳細, ミズノスポーツ振興財団スポーツ学等研究助成金についての詳細, 日本医学会における「未来への提言」及び質問事項の提出, 第31回日本医学会総会学術委員会学術プログラム構成に関するアンケートの提出, 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会合同シンポジウムの企画についての決定の報告がなされた。

- ・スポーツ医学研修会委員会
(中里スポーツ医学研修会委員長)
令和2年度事業報告資料④に基づき, 令和2年度の第31回スポーツ医学研修会が中止となったことが報告された。
- ・プロジェクト研究委員会
(須田プロジェクト研究委員長)
プロジェクト研究委員会が令和2年度で終了したことが報告された。
- ・学会賞選考委員会 (前田学会賞選考委員長)
第33回日本体力医学会学会賞候補の選考と, 前回の理事会で審議し決定されたことが報告された。
- ・ガイドライン検討委員会
(宮内卓ガイドライン検討委員会委員長)
令和2年度事業報告資料④に基づき, 以下の内容が報告された。
「生活習慣病の蔓延」と「少子高齢化の進行」が大きな社会問題となっているわが国における, 「健康寿命の延伸」を目指した活動などを視野に入れたガイドラインの作成を, 他の学術団体との協力も含めて進めている。また, 2021年夏に開催予定の東京オリンピックを視野に入れた, 競技スポーツにおける安全対策, 特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成を, 他の学術団体との協力も含めて進めている。
- ・渉外委員会 (永富渉外委員長)
資料に基づき, 以下の内容が報告された。
 1. 委員長：永富良一
副委員長：宮下政司, 和気秀文
委員：荻田 太, 小熊祐子, 浜岡隆文, 藤田 聡, 山内秀樹, 秋本崇之, 丸藤祐子, 奥津光晴, 関根紀子, 橋本健志, 門間陽樹, 鎌田真光, 福 典之
 2. 国際交流事業
(ア) ECSS-JSPFSM Exchange Symposium 中止
①2020-Seville-2020.10.28-30 (COVID19のため延期された新日程)
ECSS-JSPFSM Exchange Symposium “Muscle Relaxation in Sports”
シンポジスト：加藤考基 (南山大学), 大高千明 (奈良女子大学), Vogt, Tobias (ケルン体育大学：座長)
②ECSS 2020.10.28-30 オンライン開催 交流シンポジウム中止
③ECSS 2021 Seville, ECSS2022 Glasgow に予定変更
1. 2021 Glasgow 公募申請未定 (国内選考済み)
(イ) 第75回日本体力医学会大会 (鹿児島)

2020.9.24-26における国際交流事業：ECSS 2019 Young Investigators Award Winnersの招聘
来年度に繰り越し予定

(ウ) ECSS 2020 Virtual 2020.10.28-30 Young Investigators Award Winnersの日本体力医学会大会への招聘 検討中

(エ) 国際学術交流奨励賞

(オ) 2020横浜スポーツ学術会議（2020.9.8-12 Web会議）企画
(http://yokohama2020.jp/jp/index_jp.html)
Web

日本体力医学会提案企画 ライブ開催

9月11日

16:00-17:30

Sports under the COVID19 pandemic (K16)
Tim MEYER, Stephane BERMON, Ryoichi NAGATOMI

17:30-19:00 Technology and sports (Q24)
Hiroaki HOBARA, Stephane BERMON, Tetsuo NISHIYAMA

(カ) 他の国際学会との連携

(下記が予定されているが、いずれも延期・中止)

①AFSM（アジアスポーツ医学会）、FIMS（国際スポーツ医学会）

②ACSS（Asian College of Sports Science 仮称）
準備委員会設立時参加国（予定）：China, Singapore, Malaysia, Hong Kong, Chinese Taipei, Thailand, Vietnam and Japan

③韓国運動生理学会（The Korean Society of Exercise Physiology）

3. 国内関連学術団体との交流・連携

(ア) 脳心血管病予防に関する包括的管理合同会議

(イ) 国内学会との連携

①日本生理学会大会

②サルコペニアフレイル学会、日本臨床運動療法学会など

・倫理委員会（成田倫理委員長）

資料④に基づき、大会の演題応募における倫理的手続きの検討が報告された。

・広報委員会（須永広報委員長）

令和2年度事業報告資料④に基づき、以下の内容

が報告された。

- 1) 学会ホームページの管理・運営
- 2) 学会ホームページのコンテンツ（刊行物紹介）の追加

・男女共同参画推進委員会

（須永男女共同参画推進委員長）

令和2年度事業報告資料④に基づき、以下の内容が報告された。

- 1) 男女共同参画学協会連絡会 第18期 運営委員会への出席
- 2) ワークショップ開催に関する検討

・全国地方会実行委員会

（竹森全国地方会実行委員会委員長）

令和2年度事業報告資料に基づき、以下の内容が報告された。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で2月以来各地方会大会が中止となっているが、求めに応じて助言を行った。

3. 第75回（鹿児島）大会の進捗状況（徳田大会長）

配布資料に基づき、以下の状況であることが報告された。

会 期：2020年9月24日（木）～26日（土）

会 場：WEB開催

テーマ：チェストいけ！日本体力医学会

－健康長寿を支える体力医学の未来－

- (1) 現時点（8/25）の参加予定数 390名
- (2) 特別講演（1）・教育講演（1）は、誌上発表
大会長講演は、Web場での発表
- (3) 現時点（8/25）での一般発表（ポスター）450題
- (4) 協賛企業（広告）13社
- (5) プログラム・予稿集 現時点：3/31校了予定
また、各種委員会、研究会の開催日程については、大会の運営事務局に連絡するよう、周知がなされた。

4. 第76回（三重）大会の進捗状況（加藤大会長）

資料①に基づき、大会の準備状況等について報告された。

会 期：2021年9月17日（金）～19日（日）

会 場：三重県総合文化センター

公益財団法人 明治安田厚生事業団 第37回 若手研究者のための健康科学研究助成

研究テーマ ※いずれか1件のみ応募可

- a. 指定課題：運動とメンタルヘルス
「メンタルヘルス」にはポジティブな側面（QOLや幸福感など）や認知機能及び睡眠などの周辺領域を含む
- b. 一般課題：健康増進に寄与する学術研究

助成の金額

総額1,500万円

- a. 指定課題（10件以内）：1件につき100万円
- b. 一般課題（10件以内）：1件につき50万円

選考委員奨励枠

受贈課題以外から、選考委員推薦による特別枠
1件につき30万円（3件以内）

応募資格

- ・健康科学研究に従事し、修士以上の学位を有する方（医学・歯学の学士などを含む）
- ・40歳未満（2020年6月1日時点）かつ所属長または指導教官の推薦を受けた方
- ・第36回（前年度）受贈者は除外

応募締切

2021年2月25日（木）必着

主催 公益財団法人 明治安田厚生事業団
後援 日本体力医学会
明治安田生命保険相互会社

選考委員

- 委員長 福永哲夫（東京大学名誉教授）
委員 荒尾 孝（公益財団法人明治安田厚生事業団
体力医学研究所副所長）

- 委員 井澤鉄也（同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科教授）
委員 小熊祐子（慶應義塾大学スポーツ医学研究センター准教授）
委員 定本朋子（日本女子体育大学名誉教授）
委員 新開省二（女子栄養大学栄養学部教授）
委員 永松俊哉（山野美容芸術短期大学美容総合学科教授）

（敬称略・五十音順）

●応募方法：

申請書を研究助成ホームページからダウンロードして作成してください

作成した「申請者情報ファイル（エクセル形式）」と「研究計画ファイル（ワード形式）」を事務局宛にメールでお送りください

※パスワードが設定されたファイルや圧縮されたファイルは受理できません

●申請書ダウンロード：

URL: <https://www.my-zaidan.or.jp/josei/entry/>

●申請書送付：

E-mail: josei@my-zaidan.or.jp

●お問合せ：

公益財団法人 明治安田厚生事業団体力医学研究所
研究助成事務局

〒192-0001 東京都八王子市戸吹町150

TEL 042-691-1163 FAX 042-691-5559

編 集 後 記

高木兼寛と聞けば、大学院で疫学関係の授業を担当している私は東京慈恵会医科大学の創設者ということよりも日本海軍の脚気と麦飯の史実を思い出します。高木が学んだ鹿児島医学校は今年の学会大会が現地開催される予定だった現在の鹿児島大学（医学部）です。そして、2020年は東京オリンピック・パラリンピックの年として後世に伝えられるはずでしたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の年になってしまいました。更に、今年には日本学術会議に関する話題が学術界に波紋を広げました。

日本疫学の祖といわれる高木、そして感染症疫学の祖といわれコレラの感染経路を疫学的手法により特定したジョン・スノウ、いずれの先人も現状を丹念に観察し、証拠に基づいて現状の改善に努めました。社会疫学、運動疫学が今年以上に注目され、社会に影響を与えた年はないかもしれません。ところがCOVID-19や学術会議の一連の出来事では、精緻な分析に基づく証拠よりも声の大きい（発信力のある）者の意見に傾くきらいがありました。皮肉なことではありましたが、この経験を通して、これまでは精緻な計画・分析に基づく証拠を、思い込みを排除して記述し論文としてまとめることが、研究者の使命であると考えていましたが、その証拠（論文）を広くそして正しく発信することの重要性を痛感しました。

2020年の最終号となる体力科学69巻6号には、労働衛生に関する4つの総説が収録されています。総説は多くの証拠を第3者がまとめた論文です。総説に引用された論文の執筆者らは労働衛生分野の研究に貢献しているといえます。ただし、研究者のアウトリーチ活動は社会に向けて行われなければなりません。本号は、「体力科学」の認知度を向上させることをねらった特集企画のひとつではありますが、編集委員会が取り組めることには限りがあります。会員の皆様におかれましては、是非SNS等

を活用して「体力科学」と「JPFMS」の掲載論文から得られた知見を広く社会に発信していただければと思います。

2020年に「体力科学」に掲載された原著・資料は18編でした。全18編の受付から受理までの期間は平均102日（最短35日、最長221日、中央値90日）でした。世界的なオンラインジャーナルの増加に伴って、ひとりの研究者が年間に査読する論文の総数も増加しているはずですが、その中で概ね3ヶ月程度の審査期間は投稿者が投稿を躊躇するほどの遅さにはなっていないと思います。しかしながら、COVID-19関連の研究などのように早期の公開を求めるテーマもあります。海外の雑誌では投稿中の論文が審査過程を含めて公開され、その情報をもとにメディアが紹介することもあります。速報性については、今後の出版業務の検討材料に思います。

本号には第75回大会（鹿児島）の報告と第76回大会（三重）の案内（第1報）が掲載されています。第75回大会は史上初めてのWeb開催となりました。他の学会でも感染症予防の観点から、現地開催を見送った例はありますが、その方法は様々です。リモート会議システムを用いた例が最も多いと思いますが、現地開催とのハイブリッド形式もありました。ライブ配信さえできれば、ほとんどのプログラムが現地開催と同じように実施可能です。感染症のパンデミックはネガティブに捉えられることが多いですが、他方で、パンデミックに起因するデジタル関連技術の発展により、働き方や大学の講義などで新しいスタイルが生まれました。技術革新は論文公開（雑誌）と研究発表（学会大会）の垣根をなくす可能性もあります。第76回大会においては、前例にとらわれることなく、新しい生活様式における新しい体力医学会大会の開催が期待されます。

鈴木宏哉

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.69, No.6

体 力 科 学 第 69 巻 第 6 号

令和 2 年 11 月 25 日 印 刷
令和 2 年 12 月 1 日 発 行

編集兼発行者
発 行 所

後 藤 勝 正
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

編 集 事 務 局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp

印 刷 所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1
鶴岡印刷株式会社
